

2026.2.16 配布用

2025年度全国都道府県ホッケー協会 専務理事・事務局長連絡会

2026.2.11



- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 2025年度活動報告 | 90分程度 11:05-12:35 |
| ※昼食休憩※ | 30分程度 12:40-13:10 |
| 2. 日本代表チームの今後の活動予定 | 15分程度 13:10-13:25 |
| 3. 地域の取り組み事例のご紹介 | 30分程度 13:25-14:00 |
| 4. 連絡事項 | 30分程度 14:00-14:30 |

質疑応答の時間はセッションごとに設けますが、全体の進行を見ながら進めさせていただき
1～4終了時に必要に応じて時間を設けるようにいたします。

全国都道府県ホッケー協会専務理事・事務局長連絡会

1. 2025年度日本ホッケー協会の活動について ご報告



1. 2025年度の活動報告 アジェンダ

1. 活動概要と方針 (専務理事 多氣)
2. 25年度活動報告 (本部長 多氣、永井、近藤、安西、坂本)
3. 財務状況・見通し (財務担当理事 福島)
4. 質疑応答

1. はじめに

JHAの活動概要と長期方針について



- 4月 : 高円宮杯2025ホッケー日本リーグ ～11月まで
- 6月 : 定時総会、FIHネーションズカップMen's (マレーシア)
- 7月 : 全日本大学王座 (関西)
- 8月 : インターハイ (鳥取県)、全日本中学生選手権 (香川県・愛媛県)
AHFアジアカップ (Men's インド、Women's 中国)
- 9月 : 全日本社会人選手権 (青森県)、全国スポ少交流大会 (東京都)
全日本マスターズ (富山県)
- 10月 : 国民スポーツ大会 (滋賀県)、全日本中学生11人制 (福井県)
- 11月 : インカレ (東京都)、男女全日本選手権 (東京都)
マスターズJapan CUP (東京都)
- 12月 : FIH ジュニアワールドカップ (M インド、W チリ)、全国高校選抜 (岐阜県)
- 2月 : FIHワールドカップ最終予選 (M エジプト、W チリ)

開かれた協会へ

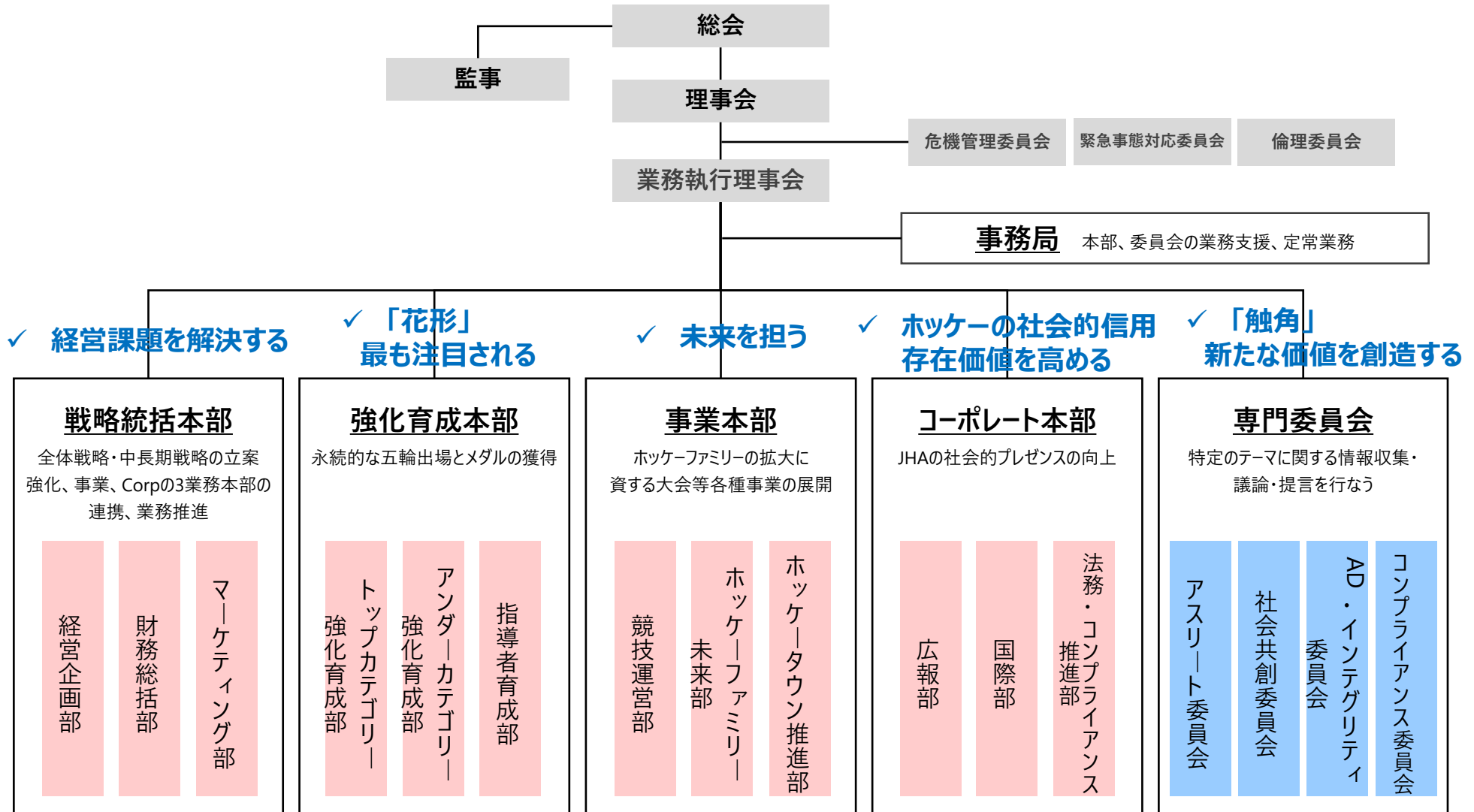
情報開示による、ステークホルダーとの課題共有
老若男女、意欲のある人が活躍できる組織へ



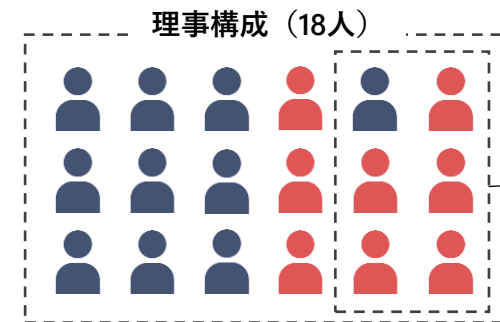
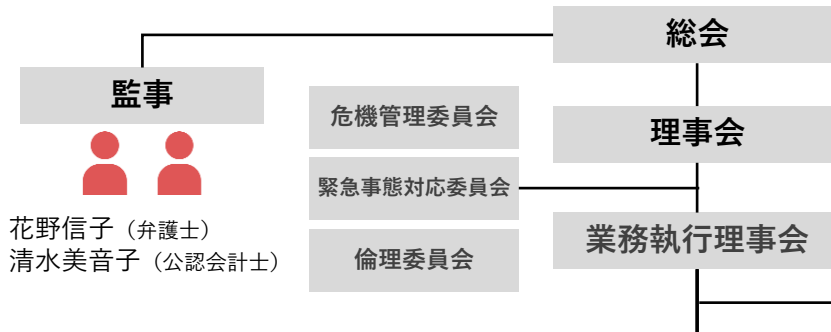
日本ホッケーの将来を真剣に考え、行動してくれる、多様な人財の抜擢

ボランティアの存在は必須。「やりがい搾取」にならない組織文化を創る

確認) JHAの組織体制 4本部、12部、4専門委員会



- 会長
三須和泰
- 副会長
北野妙子
- 専務理事
多氣洋平



女性44%
※監事を含めた女性比率は50%

外部33%

事務局長
坂本幼樹

事務局 本部、委員会の業務支援、定常業務

✓ 経営課題を解決する

✓ 「花形」最も注目される

✓ 未来を担う

✓ ホッケーの社会的信用存在価値を高める

✓ 「触角」新たな価値を創造する

戦略統括本部

全体戦略・中長期戦略の立案
3業務本部の連携、業務推進

- 本部長：多氣洋平 ※兼務
- 副本部長：西田美和子
- 経営企画部**
 部長：中村真理
- 財務総括部**
 部長：福島雄裕
- マーケティング部**
 部長：坂本幼樹

強化育成本部

持続的な五輪出場とメダルの獲得

- 本部長：永井祐司
- 副本部長：小林和典
- トップC強化育成部**
 部長：高橋義徳
- アンダーC強化育成部**
 部長：久我晃広
- 指導者育成部**
 部長：浅里圭吾

事業本部

ホッケーファミリーの拡大に資する大会等各種事業の展開

- 本部長：近藤聡史
- 副本部長：久保克敏
- 競技運営部**
 部長：安枝和子
- ホッケーファミリー未来部**
 部長：高瀬美保
- ホッケータウン推進部**
 部長：柿田亜矢子

コーポレート本部

JHAの社会的プレゼンスの向上

- 本部長：安西浩哉
- 副本部長：奥田竜子
- 広報部**
 部長：桜木由美子
- 国際部**
 部長：安西浩哉 ※兼務
- 法務・コンプラ部**
 部長：箸本明雄

専門委員会

特定のテーマに関する情報収集・議論・提言を行なう

- コンプライアンス**
 委員長：三須和泰
- アスリート**
 委員長：小野真由美
- 社会共創**
 委員長：西田美和子 ※兼務
- ADインテグリティ**
 委員長：埴岡隆

H●CKEY JAPAN

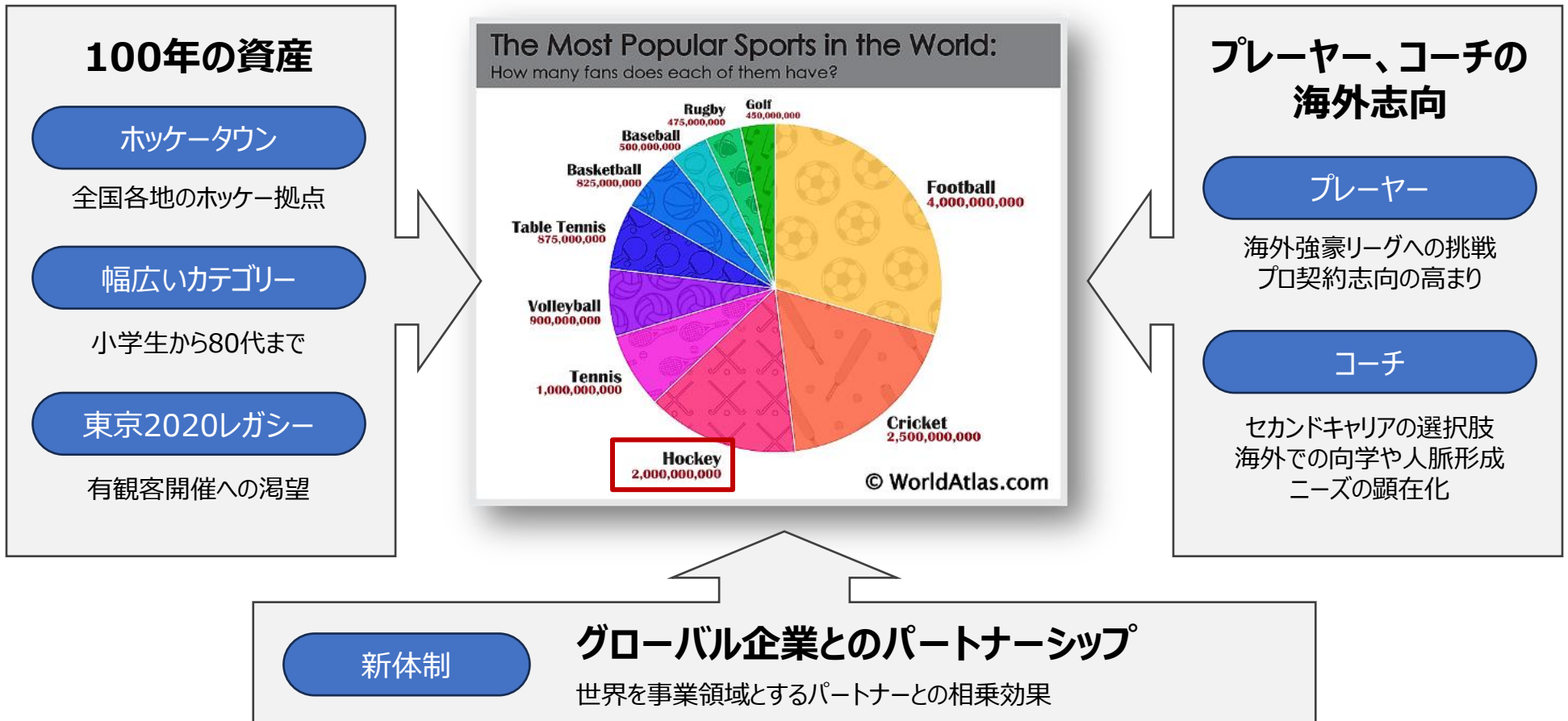
世界への挑戦

～グローバル化の推進で次世代活躍の礎をつくる～

東京2020後の社会情勢や日本ホッケーを取り巻く環境変化を受け、
中長期方針「Road to 2030」を更新

ホッケーは、全世界に20億人の愛好者がいる、グローバルスポーツ。

2026年は日本ホッケーの地力を世界の場で発揮していく、大きな変化のタイミングと捉えています。



2030年まで

FIH PROリーグへの参戦

2032年ブリスベン五輪

100年ぶりのメダル獲得

2038年まで

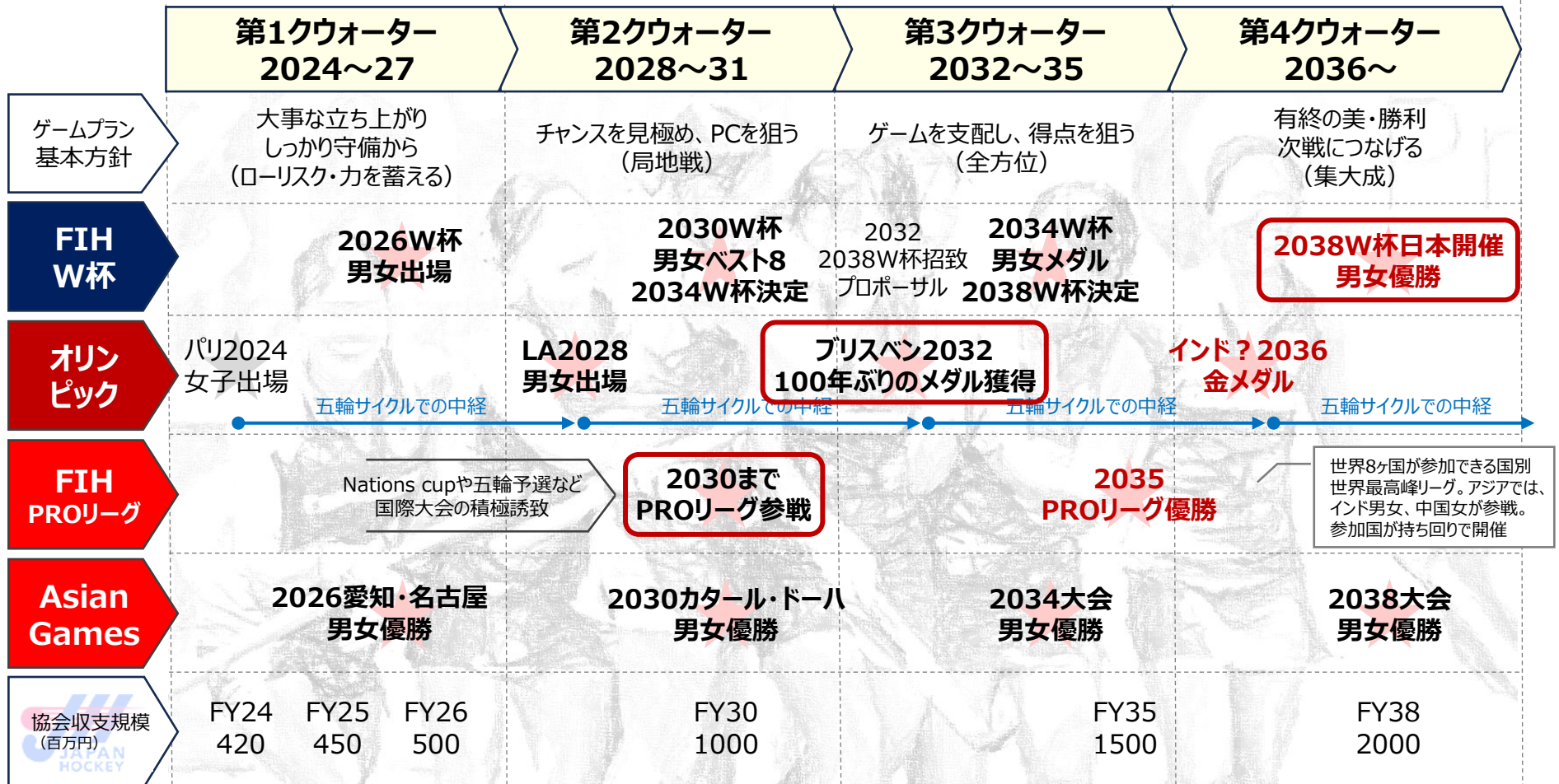
FIH World Cup 日本開催



世界レベルでの、代表強化、大会運営能力、集客&メディア発信力を養う為、世界最高峰リーグ（FIH PROリーグ）への5年以内の参戦を目下の目標としています。

PROリーグへの参戦はこれまでにない大きな資金や人的リソースが必要となるが、強化・育成・普及・基盤が一体となって、日本を地力を世界レベルに引き上げ、世界の強豪の一角として、永続的に世界大会で結果が出せることを目指したい。

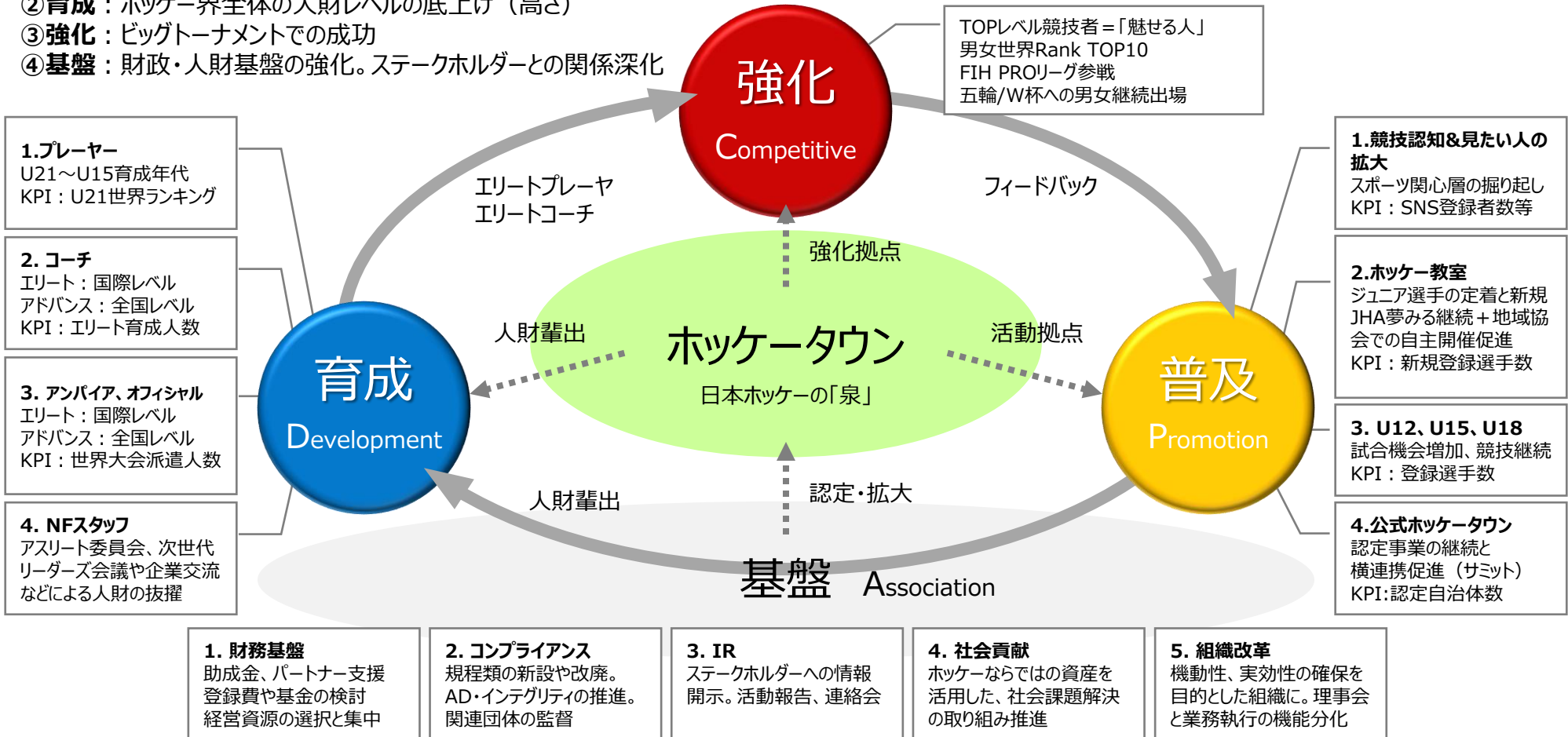
ベンチマークとなる国際大会



すそ野の充実こそが、長期継続的な強化に資する点を引き続き重視。

TOPレベル競技者を「魅せる人」と定義し、「見たい人」を増やしていく好循環をつくりだしていきます。

- ①普及：ファンや将来世代のすそ野の拡大（面）
- ②育成：ホッケー界全体の人財レベルの底上げ（高さ）
- ③強化：ビッグトーナメントでの成功
- ④基盤：財政・人財基盤の強化。ステークホルダーとの関係深化



“世界基準”でのHockey Japanの強化プラン（一例）

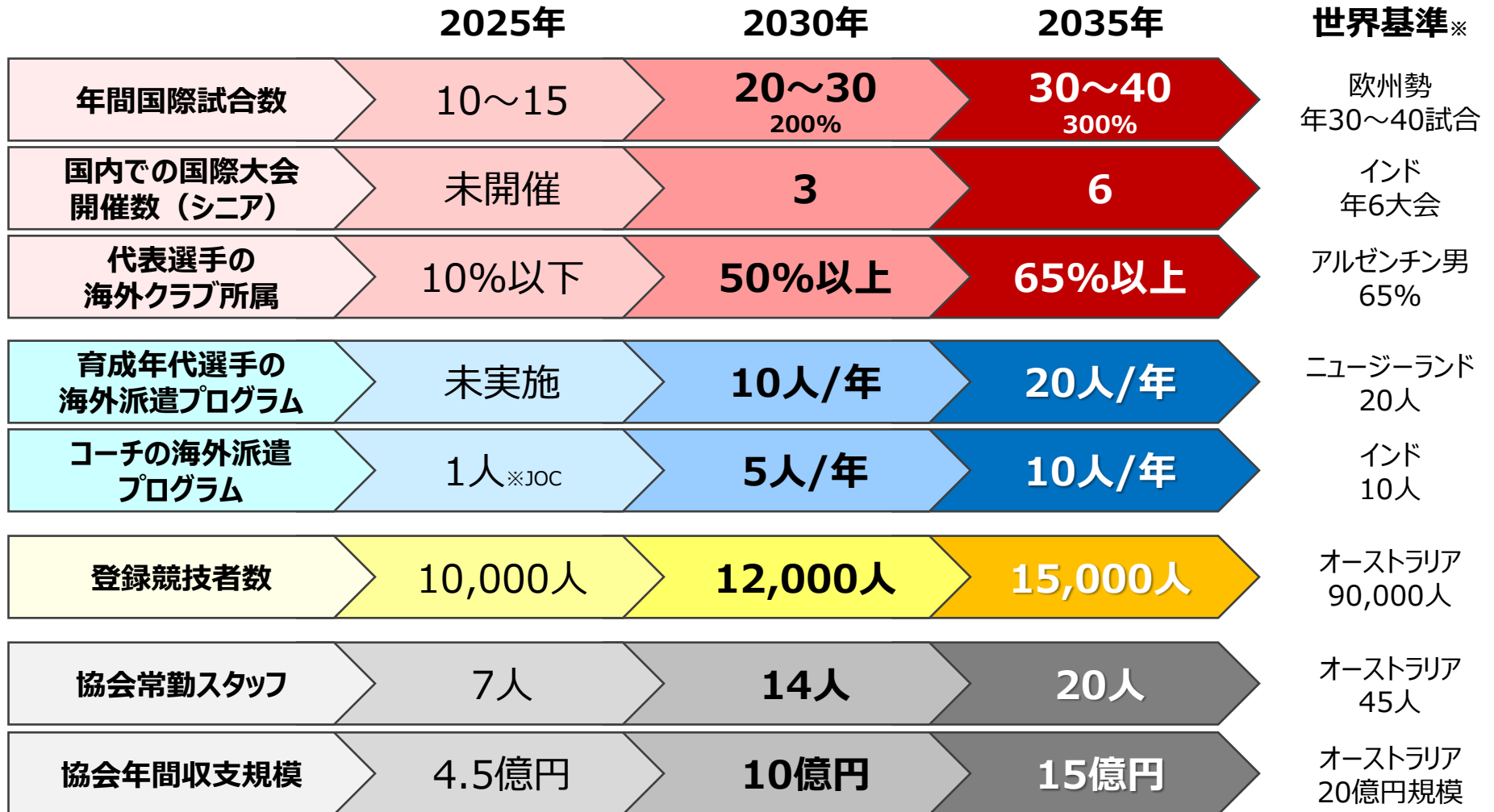
世界基準での指標を基に、日本ホッケーの「国力」を強化していきます。

ハイパフォーマンス

育成

普及

基盤



2-1. 2025年度の活動報告

戦略統括本部

経営企画部、財務総括部、マーケティング部

戦略統括本部長 多氣洋平

JHAの経営課題を解決する。

FY25：財務基盤、情報開示、長期戦略、人財確保

各部の活動概要

経営企画部

- ・活動報告の充実。情報開示、双方向での情報交換の場づくり
→ JHA連絡協議会の継続実施、ならびに情報開示の更なる強化
- ・組織改革の検討及び具現化
→ 経営と執行の分化によるガバナンスの強化。機能的で健全な運営体制の構築
- ・関係団体のガバナンス強化サポート → スポーツ庁NFガバナンスコードの遵守
- ・人財の確保と継続性の担保 → 協会運営を支える人財基盤の強化
- ・「日本ホッケー協会賞」の運用 → 表彰制度を通じた功績顕彰と価値の可視化

財務総括部

- ・ 管理会計（予実管理、資金繰り管理）の徹底
- ・ 稟議申請／経費精算のシステム化
- ・ 中長期の資金繰りや事業活動に必要な財務計画の策定
- ・ 新規財源の検討

マーケティング部

強固な財政基盤確立にむけた取り組み。

特に、中長期視点で価値を共有できるパートナー（スポンサー & サプライヤー）の開拓

パートナーシップ活動 → 継続的なスポンサーアクティベーションの実施

社会共創活動への取り組み → ホッケー競技を活用して頂く

デジタルマーケティングの実践 → 外部専門家との連携強化

経営企画部) JHAカンファレンス2026の企画・運営

ステークホルダーの横の繋がりを促進し、活動に関する理解を拡大するため、 複合会議体「JHAカンファレンス2026」を企画、運営



〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号
JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE
電話番号：03-6812-9200
FAX 番号：03-6812-9210
info@japan-hockey.org

JHAカンファレンス2026
2026年1月9日

公益社団法人 日本ホッケー協会
日協R7第86号

全国都道府県ホッケー協会
専務理事・事務局長 各位

公益社団法人日本ホッケー協会
専務理事 多氣 洋平

JHAカンファレンス2026の開催について (ご案内)

拝啓 厳寒の候 貴台に於かれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃は、当協会の運営に多大なご支援を頂き感謝申し上げます。

さて、下記要領にて令和7年度全国都道府県ホッケー協会専務理事・事務局長連絡会「JHAカンファレンス2026」を開催いたしますので、ご案内申し上げます。

本連絡会は、全国の都道府県協会にて、日々実務の中心となって活動していただいている方々にお集まりいただき、日本ホッケー協会の活動状況の報告および、地域ホッケーの現状共有などを通じて、今後のホッケーのさらなる発展について考え、相互の理解とつながりを深めることを目的としております。

つきましては、ご多忙とは存じますが、お繰り合わせのうえご参加くださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

1 日 時 2026年2月11日(水・祝) 11:00~15:30頃終了予定
※受付開始は10:30から。オンラインの入室可能時間は10:45からを予定

2 場 所 リアル&オンライン併用
【リアル会場】株式会社 MIXI 本社 36 階 会議室
〒150-6136 東京都渋谷区渋谷 2-24-12 渋谷スクランブルスクエア
JR 渋谷駅直結 (最寄りの出口は、JR 渋谷駅中央改札となります。)
(ご参考: <https://mixi.co.jp/company/profile/>)
渋谷スクランブルスクエアのオフィス棟エレベーターで 17 階までお上がりください
17 階の受付フロアに 10 時 30 分頃にお越しいただけますと幸いです。

【オンライン】 Zoomでのライブ配信
ご出席される方にアクセス方法を別途ご連絡いたします。

タイムスケジュール	内容
10:50~	【中村】(会場アナウンス) 本日の連絡協議会は11:00に開始致します。 いましばらく本会場にてお待ちください。オンラインでご参加の皆さまもしばらくお待ちください。
11:00	【中村】お待たせいたしました。定刻となりましたのでJHAカンファレンス2026 全国都道府県ホッケー協会 専務理事・事務局長 連絡協議会を始めます。 本日は、大変お忙しい中、お集まりいただき、誠にありがとうございます。 また、オンラインで、ご参加の皆さまありがとうございます。 進行を務めます日本ホッケー協会 戦略統括本部 経営企画部の中村でございます。どうぞよろしくお願い致します。 本日の流れを簡単に説明させていただきます。 はじめに、日本ホッケー協会の専務理事・多氣よりご挨拶とHOCKEYJapan® 世界戦略のご説明、続いて各本部、委員会、事務局の令和7年度の活動概要 および活動報告、最後に財務状況の進捗についてご報告いたします。 その後、約30分程度の昼食休憩をはさみ、男女日本代表チームの現況等について 強化育成本部長よりご説明いたします。 続いて、事業本部および専務理事より連絡事項を数点ご案内いたします。 次に、事例共有として、代表合宿の受け入れ事例および「夢見るホッケー教室」 の開催報告について3つの地域協会の皆さまよりご発表いただきます。 以上をもちまして一旦、中絶めとし、同会場にて交流懇親会を予定しております。 対面でご参加の皆さまには、ぜひご参加いただければ幸いです。 11:02 【中村】 それでは、はじめに日本ホッケー協会の専務理事 多氣よりご挨拶ならび にHockey Japan®世界戦略、戦略統括本部の活動についてご説明いたします。 続いて、各本部、委員会、事務局より活動報告および財務状況をご報告 いたします。 なお、ご質問につきましては、財務状況の報告後にお受けしたいと思 いますので、宜しくお願いいたします。

経営企画部) JHAカンファレンス2025の様子

ホッケータウンプレサミット
(2025年2月10日開催)

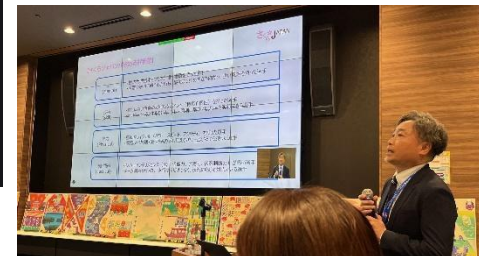
2024年度 全国都道府県ホッケー協会
専務理事・事務局長連絡会 (2025年2月11日開催)



ホッケータウンの方からの情報提供



地域の名産品が持ち込まれた会費制の懇親会



2025年2月11日開催のJHA連絡会と地域協会の取り組みに関する アンケートの実施と結果をJHA HPに公開

調査概要

調査名 : JHA連絡会と地域協会の取り組みに関するアンケート

調査目的 : 1. 次回のJHA連絡会開催に向けたフィードバックを頂戴するため
: 2. 会議中にご要望いただいた各地域協会間の取り組みや課題の情報共有を行うため

調査内容 : 1. JHA連絡会の感想
: 2. 地域協会での取り組みや課題について

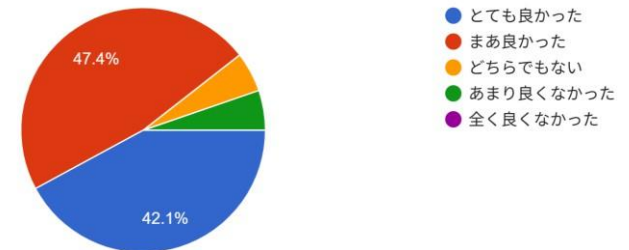
設問数 : 全13問

回答者数 : 32名

調査期間 : 2025年2月14日(金)～2月28日(金)

実施主体 : 日本ホッケー協会 戦略統括本部 経営企画部

Q5.全体を通して、今回のJHA連絡会について、あてはまるものをお知らせください。
19件の回答



※ JHA連絡会と地域協会の取り組みに関するアンケート結果 <https://hockey.or.jp/news/press/info/pt2025033182547.html>

経営企画部) 連絡会と地域協会の取り組みに関するアンケート

アンケートにより、次回のJHA連絡会に向けて目指すべきあり方が整理され、各地域協会間にて共有すべき課題が見えてきた。

JHA連絡会について

- 初回となる JHA連絡会 の開催についてはご好評いただいた。
- 特に2024年度の活動報告として、財務状況や代表チームの活動方針に関して理解を深めていただけた。
- 一方、活動報告に要した時間が120分超と長かったことや、次回に向けてオンライン参加の要望も多くあり、会議体の運営に改善点があることを確認できた。
- また、初回であった点を踏まえつつも、日本協会から地域協会への一方的な説明が続いたというご指摘もあり、地域協会を主体とした会議体の設計や意見集約、意見交換しやすい場作りが、今後に向けた課題である。

地域協会での取り組みや課題について

- 地域ごとに規模感の違いはあれど、限られた人員、予算の中で、地域の実態に即したホッケーの活性に取り組んでいただいていることが再確認できた。
- 「設備」、「少子化/人口減少」、「競技継続性の担保」、「財政/運転資金」、「人的リソース」の主に、5つの課題があることが再確認できた。

- ・ 表彰の意義の再認識 (2014年度以降休止)
- ・ 運用細則の整備等、表彰制度再開に向けた諸準備
- ・ 表彰制度の実運用

2025年8月18日

公益社団法人日本ホッケー協会 正会員の皆さま

公益社団法人日本ホッケー協会
戦略統括本部 本部長 多氣洋平

令和7年度日本ホッケー協会賞候補者推薦について (ご案内)

拝啓 残暑の候、貴台に置かれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃は当協会の活動に多大なるご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。さて、このたび、当協会では「日本ホッケー協会賞」の運営細則を整備し、表彰制度を再開することいたしました。

本表彰制度は、永年にわたり日本ホッケーの発展に尽力され、後進の育成を含め将来の礎を築いてこられた方々に対し、最大の敬意と謝意を表すとともに、その功績を後世に伝えることを目的に制定されたものです。しかしながら、2014年以降は本制度による表彰が行われておらず、その意義を再認識するとともに、制度を再整備し再開する運びとなりました。

つきましては、下記のとおり、表彰候補者の推薦を受け付けいたしますので、趣旨をご理解のうえ、該当の方がおられましたら是非ご推薦くださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

1 推薦受付期間
2025年8月18日(月)～9月30日(火)
※運用細則では推薦受付期間は原則として毎年8月1日から9月15日までとされていますが、今年度に限り上記の受付期間といたします。

公益社団法人 日本ホッケー協会
日本ホッケー協会賞運用細則
(令和7年7月15日施行)

第1章 総則

第1条 (総則)
本細則は、公益社団法人日本ホッケー協会(以下「本協会」という)定款施行細則第27条に定める「日本ホッケー協会賞」(以下「本賞」という)の運用に関する事項を定める。

第2条 (目的)
本賞は、本協会最高位の表彰として、永年にわたりホッケーの普及・振興に多大な貢献をされた者に対し、「殿堂入り」として後世にその功績を伝えることにより最大の敬意と謝意を表すことを目的とする。

第2章 対象者の要件

第3条 (対象者の資格)

1 本賞の対象者は、次の各号をすべて満たす者とする。
 (1) 年齢が65歳以上であること
 (2) 本協会、地域協会、関連6団体の現役役員ではないこと
 (3) 本協会の正会員ではないこと
 (4) 以下のいずれかの実績を有すること
 ア) シニア代表チームの監督、ヘッドコーチ、主将経験者
 イ) オリンピック出場者(選手、競技役員、スタッフを含む)
 ウ) 本協会主催全国大会で複数回優勝したチームの監督
 エ) 日本リーグ、全日本選手権のテクニカルデリゲート経験者
 オ) FIH/AHF 理事、監事経験者
 カ) 本協会理事、監事、事務局長経験者
 キ) 上記に匹敵する実績を有し、特に表彰に値するもの

2 本賞は原則として存命中の者を対象とする。ただし、理事会が特別事情により承認した場合はこの限りでない。

令和7年度 表彰選考委員会 へ

日 時: 令和7年11月17日(月) 20:00～21:00へ
開催形態: オンライン会議へ

議事次第へ

0 開会にあたって(本会の趣旨及び本日の流れを説明) 多氣へ
 1 開会挨拶 三須へ
 2 配布資料及び日本ホッケー協会賞運用細則の確認 (資料①) 中村へ
 3 選考委員会メンバー紹介 中村、各委員へ
 4 表彰までのスケジュール確認 (中村)へ
 11月17日(月) 表彰選考委員会(理事会への推薦者を決定)へ
 11月24日(月祝) JHA 理事会(受賞者の内定)へ
 12月上旬頃 受賞内定者へ通知、JHA HPで発表へ
 2月11日(水祝) 地域協会連絡会にて表彰式へ
 ※年次イヤーブック等にて受賞者を紹介。ご功績等を掲載する予定へ

5 過去の日本ホッケー協会賞受賞者の確認(資料②) 中村へ
 6 候補者の確認 中村へ
 推薦書(資料③-1.2.3)へ
 経歴書(資料④-1.2.3)へ

7 審議 各委員へ
 8 推薦者の決定 各委員へ
 9 閉会挨拶 北野へ

以上へ

日本ホッケー協会賞

本協会最高位の表彰として、永年にわたりホッケーの普及・振興に多大な貢献をされた方に「殿堂入り」として後世にその功績を伝えることにより、最大の敬意と謝意を表することを目的とする。

2025年度日本ホッケー協会賞受賞者 ※順不同。年齢は2025年12月1日時点

河村一夫氏（78歳） オリンピアン

中村康夫氏（享年74歳） 元日本ホッケー協会専務理事

恩田昌史氏（86歳） オリンピアン、元女子日本代表監督

受賞者の紹介はJHAホームページをご覧ください。<https://hockey.or.jp/news/press/info/pt2025121086915.html>

授賞式：2026年2月17日（火）

- ・2025年10月から4回にわたり検討会を開催。各カテゴリーから選出された検討会メンバーにて現状認識を行なった上で、各カテゴリー別の課題を共有しつつ意見や情報を集約
- ・2025年12月にJHA理事会に検討会の内容が共有され方向性を承認。登録規程の改定とシステムの改修を準備中

登録の在り方検討会メンバー

担当	氏名	ふりがな	所属	役職
会長	西田 美和子	にしだ みわこ	JHA・総務統括本部	副本部長
	小原 直也	こはら なおや	JHA-U12育成グループ	事務局長
	徳光 寿	とくみつ ひさし	U15男子部会	副事務局長
	渡辺 健一	わたなべ けんいち	高体連ホッケー専門部	高体連ホッケー専門部 副部長
	埴岡 隆	はらおか たかし	日本社会人ホッケー連盟	専務理事・事務局長
	高田 良太	たかだ りょうた	マスター部会	理事
	近藤 聡史	近藤 聡史	マスター部会	理事
	福島 雄祐	福島 雄祐		
	根本 幼樹	根本 幼樹		
事務局	根本 みさ子	根本 みさ子		

登録の在り方検討会スケジュール (案) ※2026年度適用の最速パターン

検討会スケジュールに係る要素としては、①各カテゴリーからの検討会メンバー選出 (人選後の承認プロセスは省略) ②在り方検討会での取りまとめ (会議3回程度) ③理事会承認 ④システム変更

③理事会承認 前にバロメを挟む場合は、②→①→③

主担当	内容	8月	9月	10月	11月	12月
戦略統括本部	主担当の在り方検討会進め方支援					
関連団体	①検討会メンバー選出			8/28		
検討会PM	②在り方検討会 (1)		9/10			
検討会PM	②在り方検討会 (2)			10/20		
					11/19	
						12/11

2.登録の在り方(案) 選手・スタッフ登録料について

在り方検討会として、種別+チーム単位での登録ではなく、年齢別の登録料を導入し、かつ、最高金額制を導入。選手・スタッフ登録料収入の試算：11,036,800円 → 約15,000,000円 となる。

No	種別	選手	スタッフ	年齢 (4/1時点)	男女区分	区分	登録料	最高金額	現状人数
1	一般男子	1,400円	1,400円	0-9	男子・女子	選手	0円	0円	306
2	一般女子	1,400円	1,400円			スタッフ	0円		
3	大学男子	1,300円	1,400円	10~	男子・女子	選手	1,000円	1,000円	6479
4	大学女子	1,300円	1,400円			スタッフ	1,000円		
5	高校男子	200円	1,400円	20~	男子・女子	選手	2,000円	2,000円	2535
6	高校女子	200円	1,400円			スタッフ	2,000円		
7	中学男子	0円	1,400円	30~	男子・女子	選手	3,000円	3,000円	1156
8	中学女子	0円	1,400円			スタッフ	3,000円		

1-1.現状把握 登録義務の範囲 (現行規程)

『登録規程』から抜粋。
日本国内で実施される公式試合の出場にはチームおよび構成員登録が必要。また同一種別のチームにも登録できない。
https://data.hockey.or.jp/2025/regulations/JHA_Regulations-Registration_2025.pdf

- 登録義務
 - 公益財団法人日本ホッケー協会 (以下「JHA」という) に所属するチーム及び構成員 (監督、コーチ、選手、その他役員) は、2. に規定する種別に大会申込みまでに登録を完了しなければならない。未登録のチーム及び構成員は、日本国内で実施される公式試合に出場することはできない。
 - 構成員の登録は、「選手」もしくは「チームスタッフ」の2種別とし、そのどちらからかは、チームの構成が適宜変化するチームと構成が異なる可能性のある、国民スポーツ大会 (フットボール大会を含む)、中学11人制大会、ジャンパシオン大会においては、【別表 (追加登録の目的等)】に従って登録を行う。平成29年度まで認めていた「一般スタッフ」の登録者が、全日本学生大会に参加する場合の登録免除は廃止し、必ず「マスターズ」種別にも登録すること。また、「手荷重」の義務については、【別表 (監督・選手・コーチの義務について) (2018.7.7.通知)】に則り行うこと。
- その他、登録の留意事項
 - 1) 年度登録に関しては、人数および登録者居住地の制限はない。
 - 2) 選手は同一種別に属する複数のチームに登録することはできない。
 - 3) 選手の複数種別の登録については、一般種別とマスターズ種別のみの認められる。
 - 4) 大学生が一般種別に登録することとする。
 - 5) 選手が同一年度内に、登録種別を変更することはできない。
(例) 年度当初に一般種別に登録した選手が、同一年度内に大学種別に登録変更しない。
 - 6) 国民スポーツ大会 (フットボール大会)・中学11人制大会・ジャンパシオン大会において、いずれの大会も登録の種別を登録時に登録しなくてはならない。また、登録している者が「チームスタッフ (監督・コーチ・その他役員)」として出場し、その選手に「チームスタッフ (監督・コーチ・その他役員)」として登録し、その選手として出場する場合には、【別表 (追加登録の目的等)】に従って登録し、(13-14) 国体の部、(15) 中学11人制、(17) ジャンパシオン大会に登録しなければならない。
 - 7) 全国高等学校学生体育大会、全日本中学生大会、インターハイ、高校選抜大会における代表者 (学校代表) については先例として各大会の実行委員会に申請する。この場合、実行委員会がAカードを発行する。
 - 8) 全国学生スポーツ大会、全日本中学生大会、インターハイ、高校選抜大会における「チームスタッフ」の制限については、所轄団体等との規程を照らして、実施要領は大会レギュレーションで定める。

2.登録の在り方(案) チーム登録、選手・スタッフ登録における在り方の方向性 (案)

変更のポイント

- ①チーム登録料を全体的に見直す (一律 or カテゴリー単位が協議)
- ②日本協会の公式試合に出場するチームに対してはJHA主催大会上乗せ (名称は次回以降に検討) を追加徴収する
- ③選手登録料はカテゴリー単位ではなく、4月1日時点の年齢をもとに算出する
- ④スタッフ登録料は複数チームに所属する場合、1つのスタッフ登録料のみよい (スタッフ免許の考え方)

現状				変更案			
チームA	チームB	チームA	チームB	チームA	チームB	チームA	チームB
①チーム登録料 (カテゴリー単位)	①チーム登録料 (カテゴリー単位)	①チーム登録料 (一律 or カテゴリー単位)	①チーム登録料 (一律 or カテゴリー単位)	①チーム登録料 (一律 or カテゴリー単位)	①チーム登録料 (一律 or カテゴリー単位)	①チーム登録料 (一律 or カテゴリー単位)	①チーム登録料 (一律 or カテゴリー単位)
③選手A登録料 (カテゴリー単位)	③選手C登録料 (カテゴリー単位)	③選手A登録料 (年齢別)	③選手D登録料 (年齢別)	③選手A登録料 (年齢別)	③選手C登録料 (年齢別)	③選手B登録料 (年齢別)	③選手D登録料 (年齢別)
④スタッフA登録料 (カテゴリー単位)	④スタッフA登録料 (一律)	④スタッフA登録料 (一律)	④スタッフA登録料 (一律)	④スタッフA登録料 (一律)	④スタッフA登録料 (一律)	④スタッフA登録料 (不要)	④スタッフA登録料 (不要)
選手B登録料	スタッフB登録料	選手B登録料	スタッフB登録料	選手B登録料	スタッフB登録料	選手B登録料	スタッフB登録料

ダイヤモンドパートナー

SONY

オフィシャルパートナー



オフィシャルサプライヤー

普及活動パートナー



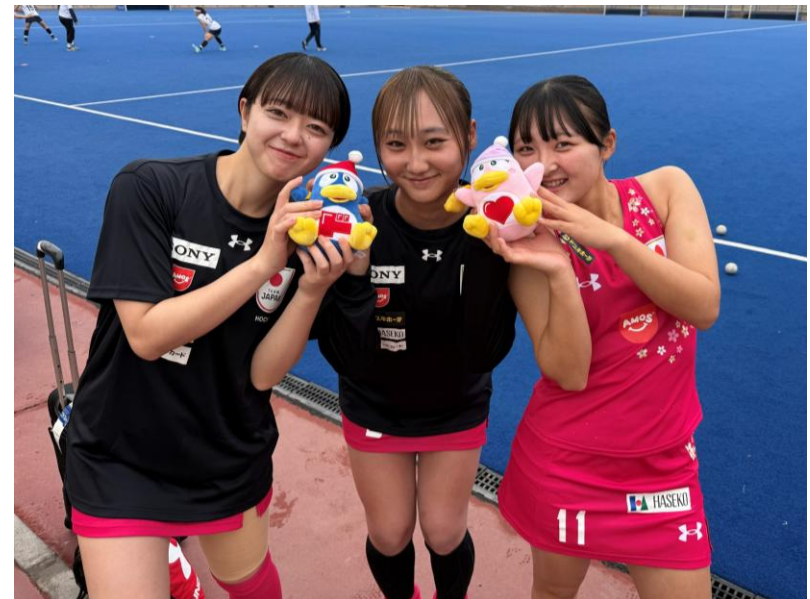
社会共創パートナー

全日本選手権特別協賛



- 2025年下期よりソニーグループ (株) が「ダイヤモンドパートナー」に就任
 - 契約期間は、2025年10月1日から2029年3月31日
 - ホッケー日本代表チーム「さくらジャパン」「サムライジャパン」をはじめとする強化活動、および、競技普及・社会連携事業を包括的に支援するもの
 - 両者は、ホッケー競技の発展とスポーツを通じた社会価値の創出を目指し、長期的なパートナーシップのもとでさまざまな取り組みを展開予定
- (株) 長谷工コーポレーション、(株) パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス とオフィシャルパートナー契約を締結
- AMOS (中国深圳市のキャンディ・グミメーカー) とオフィシャルパートナー契約の締結を口頭合意
 - ただし、現在の日中間の政治的状況により本契約締結は延期中。代表ユニフォームへのロゴの掲出が進んでいることからマーケティングフィーを収受予定
- フィットイージー (株) とオフィシャル・サプライヤー契約を締結 (全国のジムの利用権の提供)
- ポケットカード株式会社とのパートナー契約は2026年3月末で終了予定

マーケティング部) 新ユニフォームデビュー (アンダーアーマー)



三井不動産(株)

大型商業施設内での集客イベントでのホッケー体験コーナーの活用

- ・2025/3/8@ららぽーと立川立飛
東京ヴェルディホッケーチーム、東京都ホッケー協会
- ・2026/1/31@ららぽーと福岡
協力：コカコーラ・レッドスパークス、福岡県ホッケー協会

DMG森精機(株)

- ・2025/12/21 三重県名張市のDMG MORIアリーナ
- ・協力：三重県ホッケー協会、名張市ホッケー協会、三重クラブ、奈良県ホッケー協会、アルカディア奈良

Fun Fun HOCKEY!

ららぽーと立川立飛の横!
@MIFA Football Park 立川
東京都立川市泉町935-1
多摩モノレール「立飛」駅すぐ!

参加無料

2025 3/8 Sat

①ホッケー体験
11:00-12:30
14:00-15:30

②エキシビジョンマッチ
13:30-13:45

③ホッケー打ち付け体験
11:00-無くなり次第終了

④プレイエリア
10:30-15:30

3月8日は国際女性Day!
3月8日は国際女性の日です。モムのリースと一緒に写真を撮ってSNSに投稿しよう!
先着30名限定 記念品をプレゼントします!
※当日はご来場者様へのプレゼントを準備しております。

参加資格：年齢問わず誰でも参加OK!
持ち物：飲み物、運動できる服装、用具は無料貸出。
雨天中止：天候不良の場合中止となります。
※SNSに投稿された写真が掲載される場合があります。ご了承ください。
※開催内容は予告なく変更・中止となる場合があります。
お問合せ：20250308@japan-hockey.org

Coca-Cola Red Sparks

参加無料

ココ・コーラレッドスパークスの現役選手と
“ホッケー”を体験してみよう!

ココ・コーラレッドスパークス
ホッケー体験教室
at ららぽーと福岡4F スポーツパーク

2026.1.31 [sat] 11:00~13:00

2025年全日本選手権優勝!
ココ・コーラレッドスパークス

参加資格：年齢問わず誰でも参加OK!
持ち物：飲み物、運動できる服装、用具は無料貸出。
雨天中止：天候不良の場合中止となります。
※SNSに投稿された写真が掲載される場合があります。ご了承ください。
※開催内容は予告なく変更・中止となる場合があります。

**わくわく! 伊賀流
スポーツフェスタ**

ストリートホッケー、ボルダリング

令和7年 参加無料 DMG MORIアリーナ
13時~16時(予定)
*受付12:00~

12月21日

基本を学ぼう!
スティック持ち方
フッシュ、ストップなど

やってみよう!
いろいろドリブルエリア

ゴールをめざせ!
的あて、シュートエリア

ミニゲーム:エリアA・B
(親子参加可)

ホッケー選手による
エキシビジョンゲーム

ボルダリング体験コーナー 同時開催
12/21
12:00~16:00

DMG MORIアリーナ TEL:059-22-0280



ラックランド(株)

- R6年度のU-12オールスター戦でのユニフォーム協賛を頂きました（背番号下のスペースへのロゴの掲出）
- 当社は男子ホッケー選手の雇用も行って頂いており、経営陣や従業員の方にもホッケーの認知度が向上するとともに、積極的な試合観戦も行なっています
- R7年度も同様の協賛を頂くとともに、HJLアワードへの副賞協賛にも繋がっています



(会社概要)

所在地：東京都新宿区西新宿三丁目18-20

代表者：代表取締役社長 笠原 弘和

東証プライム市場上場

- 店舗施設の制作事業
- 商業施設の制作事業
- 食品工場・物流倉庫の制作事業
- メンテナンス事業
- 省エネ・CO2削減事業
- 建築事業、建築設備事業、冷凍冷蔵設備事業（エンジニアリング事業）





2-2. 2025年度の活動報告

強化育成本部

トップカテゴリー強化育成部

アンダーカテゴリー強化育成部

指導者育成部

強化育成本部長 永井祐司

トップカテゴリー強化育成部) シニア、U21代表チーム

さくらジャパン

- ネ이션ズカップ 6位
- アジアカップ 3位
- NZ 3か国大会 3位

- 日中韓親善試合
- オーストラリア遠征

U21女子

- ジュニアWC 11位
* 2大会連続出場

※ WR 12位 → 11位

サムライジャパン

- ネーションズカップ 7位
- アジアカップ 5位
- NZ テストマッチシリーズ 1勝2敗1分け

- スペイン遠征

U21男子

- ジュニアWC 14位
* 4大会ぶり出場

※ WR 17位 → 15位

PROリーグの出場権獲得を目指して大会に臨んだが、欧州勢の壁は厚く 6位に終わった。
 その結果、世界ランキングも13位に後退した。



最終結果と出場国

	チーム	世界ランク (大会前)	世界ランク (大会後)
優勝	 ニューゼーランド	10位	10位
準優勝	 アイルランド共和国	12位	11位
3位	 チリ共和国 (ホスト国)	14位	12位
4位	 アメリカ合衆国	13位	14位
5位	 スコットランド	16位	15位
6位	 日本	11位	13位
7位	 韓国	15位	16位
8位	 カナダ	17位	18位

さくらジャパン 第11回AHFアジアカップ° 2025/9/5-9/14

アジアトップ4による熾烈な争いとなったが、地元・中国が安定した戦いぶりを見せた。

日本も中国、インドとの競り合いに持ち込んだものの、最終的に3位に終わった。

この結果、W杯への出場権は世界最終予選（2026年2月）に持ち越されることとなった。



Super 4s リーグ戦

順位	チーム	試合数	勝	分	負	総得点	得失点差	勝点
1	中国	3	3	0	0	7	6	9
2	インド	3	1	1	1	6	-1	4
3	日本	3	0	2	1	2	-2	2
4	韓国	3	0	1	2	3	-3	1

最終結果と出場国

	チーム	世界ランク (大会前)	世界ランク (大会後)
優勝	中国 (ホスト国)	4位	4位
準優勝	インド共和国	9位	9位
3位	日本	12位	11位
4位	韓国	16位	16位
5位	マレーシア	25位	21位
6位	シンガポール共和国	31位	35位
7位	タイ王国	30位	28位
8位	中華台北 (チャイニーズタイペイ)	40位	62位



東アジアのホッケーの発展を目的として、日本、中国、韓国の3カ国が北京に集まり、親善試合を行った。

さくらジャパンは高校生を含む、若いメンバーを積極的に起用し、チーム力の底上げを図った。

北野妙子副会長も現地を訪れて、選手やスタッフに激励の言葉をかけられた。



3月のW杯最終予選に向けて、ニュージーランド(ダニーデン)、オーストラリア(ホバート)へ遠征。ニュージランドでは、ニュージランド、アメリカとの3カ国トーナメントに出場。オーストラリアではプロリーグに参加するオーストラリア、アイルランドなどと合計11試合を戦った。



U21女子日本代表 第11回FIHジュニアワールドカップ(2025/12/1-12/13)

24か国が参加する初めてのジュニアワールドカップが開催され、日本は2大会連続の出場となった。世界ランキング1位のオランダと同組となった影響もあり、プール戦は2位で通過したものの、残念ながら準々決勝(QF)進出はならなかった。その後の順位決定戦では粘り強い戦いを見せ、最終順位は11位となった。



最終結果と出場国

	チーム	世界ランク
優勝	 オランダ	1位
準優勝	 アルゼンチン共和国	2位
3位	 ベルギー王国	7位
4位	 中国	16位
5位	 ドイツ連邦共和国	3位
6位	 アメリカ合衆国	6位
7位	 オーストラリア連邦	5位
8位	 イングランド	4位
9位	 スペイン	9位
10位	 インド共和国	8位
11位	 日本	12位
12位	 ウルグアイ東方共和国	22位

U21女子日本代表 第11回FIHジュニアワールドカップ(2025/12/1-12/13)

グループリーグ順位表・星取表

グループA

チーム		1	2	3	4
1	日本	-	● 0:8	○ 3:1	○ 4:1
2	オランダ	○ 8:0	-	○ 10:0	○ 13:0
3	チリ	● 1:3	● 0:10	-	○ 1:0
4	マレーシア	● 1:4	● 0:13	● 0:1	-

順位	チーム	試合数	勝	分	負	総得点	得失点差	勝点
1	オランダ	3	3	0	0	31	31	9
2	日本	2	1	0	1	4	-5	3
3	チリ	2	1	0	1	1	-9	3
4	マレーシア	3	0	0	3	1	-17	0

順位決定予備戦

第7日 9-16位決定予備戦 12/7 23:15	サンティアゴ	日本 WR12位	2-2 SO4-3	韓国 WR10位
第9日 9-12位決定予備戦 12/9 23:15	サンティアゴ	日本 WR12位	0-1	スペイン WR9位

11位決定戦

第11日 11位決定戦 12/12 06:00	サンティアゴ	日本 WR12位	1-0	ウルグアイ WR22位
----------------------------	--------	--------------------	-----	----------------



サムライジャパン 第3回ネーションズカップ(2025/6/15-6/21)

ほぼすべての試合で、接戦に持ち込んだものの、惜敗が続き、最終順位は7位で大会を終えた。その結果、PROリーグ出場権の獲得には至らなかった。今後は、PC成功率の向上が課題となる。



最終結果と出場国

	チーム	世界ランク (大会前)	世界ランク (大会後)
優勝	 ニュージーランド	12位	9位
準優勝	 パキスタン	15位	15位
3位	 フランス	9位	10位
4位	 韓国	14位	13位
5位	 ウェールズ	18位	16位
6位	 マレーシア (ホスト国)	13位	12位
7位	 日本	16位	18位
8位	 南アフリカ共和国	11位	14位

サムライジャパン 第12回アジアカップ[®](2025/8/29-9/7)

サムライジャパンは近年、優勝したインドを含むアジア勢に対しては自信を持って試合を進めることができるようになった。しかし今大会では中国とのプール戦で引き分けに持ち込まれたことが響き、上位リーグへの進出は叶わなかった。最終順位は5位で大会を終えた。



最終結果と出場国

	チーム	世界ランク (大会前)	世界ランク (大会後)
優勝	 インド共和国 (ホスト国)	7位	7位
準優勝	 韓国	13位	15位
3位	 マレーシア	12位	12位
4位	 中国	23位	22位
5位	 日本	18位	18位
6位	 バングラデシュ人民共和国	29位	29位
7位	 カザフスタン共和国	82位	79位
8位	 中華台北 (チャイニーズタイペイ)	38位	55位

4試合全勝、18得点・2失点。攻撃ではピッチを24分割した構造を意識した組織的なビルドアップ、守備では連動性の高いゾーンプレスに取り組み、試合を重ねるごとに完成度が向上した。最終戦後は大井ホッケー競技場メインピッチで100名超の子どもたちと交流し、大きなモチベーションを得た。



世界ランキング6位のスペインには2-3の惜敗など2敗。11位のアイルランドと引き分け、SO戦で勝利。
25位のアメリカには5-0で快勝した。スペインとは合同練習を2回行い、世界トップレベルの
スピードや強度を体感。続くニュージーランド（10位）とのテストマッチでは1勝2敗1分。
高強度・ハイスピードな試合経験を重ね、攻守両面でのレベルアップにつながった。



U21男子日本代表 第10回FIHジュニアワールドカップ(2025/11/28-12/10)

24か国が参加する初めてのジュニアワールドカップが開催された。日本は16年のインド・ラクナウ大会以来の出場となった。プール戦では同組のアルゼンチン、ニュージーランドと互角の試合を展開したもののプール3位となり準々決勝（QF）進出はならなかった。最終順位は14位で大会を終えた。



最終結果と出場国

	チーム	世界ランク
優勝	 ドイツ連邦共和国	1位
準優勝	 スペイン	4位
3位	 インド共和国 (ホスト国)	2位
4位	 アルゼンチン共和国	3位
5位	 ベルギー王国	7位
6位	 オランダ	5位
7位	 フランス共和国	6位
8位	 ニュージーランド	12位
9位	 イングランド	16位
10位	 アイルランド共和国	22位
11位	 オーストラリア連邦	8位
12位	 南アフリカ共和国	10位
13位	 マレーシア	11位
14位	 日本	17位
15位	 チリ共和国	18位

グループリーグ順位表・星取表

グループC					
チーム		1	2	3	4
1	日本	-	● 1:4	● 2:3	○ 3:2
2	アルゼンチン	○ 4:1	-	△ 3:3	○ 3:1
3	ニュージーランド	○ 3:2	△ 3:3	-	○ 5:3
4	中国	● 2:3	● 1:3	● 3:5	-

順位	チーム	試合数	勝	分	負	総得点	得失点差	勝点
1	アルゼンチン	3	2	1	0	10	5	7
2	ニュージーランド	3	2	1	0	11	3	7
3	日本	3	1	0	2	6	-3	3
4	中国	3	0	0	3	6	-5	0

順位決定予備戦

第6日 9-16位決定予備戦	チエンナイ	日本 WR17位	0-1	オーストラリア WR8位
12/4 23:30				

第8日 13-16位決定予備戦	チエンナイ	日本 WR17位	3-1	チリ WR18位
12/6 16:00				

13位決定戦

第11日 13位決定戦	チエンナイ	日本 WR17位	1-1 SO0-3	マレーシア WR11位
12/9 18:30				



アンダーカテゴリー強化育成部) U18、U15代表チーム

U17女子

- AHFユースアジアカップ 優勝
- ミラナワンカップ 優勝
- 日韓交流 3戦全勝

U15女子

- ユースインターナショナル グリフォンカップ 2025
4位/11チーム中

U18男子

- AHFユースアジアカップ 優勝
- ミラナワンカップ 準優勝
- 日韓交流 2敗1分

U15男子

- ユースインターナショナル グリフォンカップ 2025
3位/12チーム中

U18女子日本代表 AHFユースアジアカップ (2025/7/3-7/13)

2016年のタイ・バンコク大会以来の参加となった。予選リーグでは順調に3勝を挙げ、1位で通過。決勝リーグでも安定した成績を収め、決勝戦では地元・中国と対戦した。1-0の接戦を制し、初優勝を果たした。



最終結果と出場国・地域

	チーム	世界ランク
優勝	 日本	12位
準優勝	 中国 (ホスト国)	16位
3位	 バングラデシュ人民共和国	43位
4位	 カザフスタン共和国	45位
5位	 ウズベキスタン共和国	47位
6位	 中華台北 (チャイニーズタイペイ)	31位
7位	 スリランカ民主社会主義共和国	44位
8位	 中国香港	35位

TOP4プール										
	日本	中国	バングラデシュ	カザフスタン	GP	W	D	L	P	RANK
日本	-	2 - 2	11 - 0	13 - 0	2	2	1	0	7	1
中国	2 - 2	-	9 - 0	11 - 0	2	2	1	0	7	2
バングラデシュ	0 - 11	0 - 9	-	2 - 2	2	0	1	2	1	3
カザフスタン	0 - 13	0 - 11	2 - 2	-	2	0	1	2	1	4

決勝戦

○ 日本 1 - 0 中国

※日本は初優勝



U18女子日本代表 第4回ミルナワンカップ[®]・日韓交流

国際事業において確実に結果を残すことは容易ではない中、両事業で全勝を収めたことは非常に価値の高い成果である。特に日韓交流における3戦全勝は初の快挙であり、選手たちの成長が強く感じられる。

今後、未来の「さくらジャパン」を担う存在としての活躍が大いに期待される。

【第4回ミルナワンカップ[®]】

◇ 予選リーグ

- 日本 7 - 0 オーストラリア ONE ACTIVE CROCS
- 日本 6 - 1 マレーシア
- 日本 5 - 0 オーストラリア QUEENSLAND
- 日本 5 - 0 南アフリカ

◇ 決勝戦

- 日本 4 - 1 マレーシア
- ※2大会連続優勝

【日韓交流】

- 日本 8 - 0 韓国
 - 日本 3 - 1 韓国
 - 日本 2 - 0 韓国
- ※3戦全勝



大会期間中には各国指導者の情報交換会が実施されました。

U18男子日本代表 AHFユースアジアカップ(2025/7/3-7/13)

2018年のタイ・バンコク大会以来の参加となった。予選リーグでは順調に勝利を挙げ、1位で通過。
 決勝リーグでも安定した成績を収め、決勝戦ではパキスタンと対戦した。
 レベルの高い攻撃ホッケーを展開し、初優勝を果たした。



◇ 予選リーグ

- 日本 10 - 0 インドネシア
- 日本 6 - 2 ウズベキスタン
- 日本 12 - 0 カザフスタン
- 日本 3 - 1 マレーシア
- 日本 5 - 2 チャイニーズ 台北

◇ 準決勝戦

- 日本 6 - 4 バングラデシュ

◇ 決勝戦

- 日本 3 - 0 パキスタン ※日本は初優勝

最終結果と出場国・地域

	チーム	世界ランク
優勝	 日本	17位
準優勝	 パキスタン・イスラム共和国	9位
3位	 マレーシア	11位
4位	 バングラデシュ人民共和国	20位
5位	 ウズベキスタン共和国	45位
6位	 中国 (ホスト国)	33位
7位	 インドネシア共和国	51位
8位	 スリランカ民主社会主義共和国	48位
9位	 中華台北 (チャイニーズタイペイ)	41位
10位	 カザフスタン共和国	
11位	 中国香港	49位

U18男子日本代表 第4回ミルナワンカップ・日韓交流

両事業を通じて、同世代の強豪国を相手にしても十分に通用することを証明する戦いぶりであった。試合内容も終始攻撃的で、クオリティの高い「サムライジャパン」の戦術を意識した構成となっており、今後、世界トップレベルでの活躍が期待できるポテンシャルを示した。

【第4回ミルナワンカップ】

【日韓交流】

◇ 予選リーグ

- 日本 7 - 2 オーストラリア QUEENSLAND
- 日本 3 - 4 マレーシア SPEEDY
- 日本 3 - 2 オーストラリア ONE ACTIVE CROCS
- 日本 4 - 2 マレーシア TIGERS
- 日本 5 - 2 南アフリカ

- 日本 1 - 2 韓国
 - △ 日本 2 - 2 韓国
 - 日本 1 - 3 韓国
- ※2敗1分け

◇ 決勝戦

- 日本 3 - 4 マレーシア SPEEDY
- ※ 準優勝



U15女子日本代表 ユースインターナショナルグリフォンカップ^o

今大会は年々参加チームも増え、レベルアップされたアンダーカテゴリーの大会となっている。
 U15女子日本代表も過去何度も優勝してきたが、今大会については強豪チーム相手に苦戦。
 最終順位4位となった。

□女子の最終結果と出場国（出場チーム）

	女子チーム
優勝	Stars (オーストラリア・パース)
準優勝	SSTMI (マレーシア)
3位	Highlanders (オーストラリア・パース)
4位	日本
5位	KMSB Waves (オーストラリア・パース)
6位	Ciriello Coaching Academy (オーストラリア・メルボルン)
7位	Kuala Lumpur Sport School (マレーシア)
8位	Adelaide Fire Starters (オーストラリア・パース)
9位	Mutiara Penang (マレーシア)
10位	OMSB Outbacks (オーストラリア・パース)
11位	Bobby's Coaching Australia (オーストラリア・メルボルン)
12位	JM Aurora Hawks (マレーシア)
13位	SSN Predator (マレーシア)



U15男子日本代表 ユースインターナショナルグリフォンカップ^o

今大会は男子も同様に、年々参加チームが増加し、レベルが向上している。

U15男子日本代表は、あと一歩のところまで優勝に届かない状況が続いており、今大会では上位チーム相手に内容の良い試合を展開したものの、準決勝での敗戦が響き、最終順位は3位となった。

□男子の最終結果と出場国（出場チーム）

	男子チーム
優勝	Stars (オーストラリア・パース)
準優勝	Waves (オーストラリア・パース)
3位	日本
4位	BJSS Thuderbolts (マレーシア)
5位	Highlanders (オーストラリア・パース)
6位	Korea (韓国)
7位	Bobby' s Coaching Australia (オーストラリア・メルボルン)
8位	Ciriello Coaching Academy (オーストラリア・メルボルン)
9位	OMSB Outbacks (オーストラリア・パース)
10位	Team Majulah (シンガポール)
11位	Adelaide Fire Starters (オーストラリア・パース)
12位	JM Hawks (マレーシア)



日本スポーツ賞受賞：U18ホッケー女子ユース日本代表チーム

1月22日「The Okura Tokyo (オークラ東京)」にて、
2025年度 国内外の競技会や日本スポーツ界で最も活躍した選手やチームを表彰する
「第74回 日本スポーツ賞」(読売新聞社制定、日本テレビ放送網共催) の選考会が行われ、
U18ホッケー女子ユース日本代表チームが優秀団体として選出され、表彰式が行われました。



JAPAN SPORT
COUNCIL
日本スポーツ振興センター



将来性を有する競技者の発掘及び育成活動助成
(タレント発掘・一貫指導育成事業)



U15エリートアカデミー・J-Star



指導風景
(4期生)



元さくらJ選手
による指導



他種目体験
インラインスケート



サムライジャパン
コーチによる指導



なぜ？日本ホッケー協会（JHA）は、 J-STARプロジェクトに取り組むのか？



日本ホッケー協会（JHA）は、サムライ、さくらの両代表チームが継続的にオリンピック、ワールドカップ等に出場し、メダルを獲得することを目標として強化を行なっています。しかし、それを支える発掘・育成、特にタレント発掘においては、海外の強豪国に後れを取っている点は否めません。また、それらを支える地域の指導現場との連携、組織的な取り組みも薄い状態であることが課題となっています。

これらの課題を解決するために、JHAでは
J-STARプロジェクトを通じて都道府県と連携
し有望なアスリートを発掘育成することにより
将来目標とするメダル獲得を目指しています。



- プログラムの内容とスケジュール -



Athlete Development Pathway

アスリート育成パスウェイ | 種目名：ホッケー

FTEM 段階	Foundation			Talent				Elite			Mastery
	F1	F2	F3	T1	T2	T3	T4	E1	E2	E3	M
FTEM 段階のイメージ											
アスリートがどんな経験を するか	外遊びの経験を通して、敏捷性やしなやかな身のこなしを育む	体験会でホッケーを経験する クラブや部活動に所属し、ホッケーの基礎技術を身につける	チームやクラブに所属し、国内競技大会に参加して、ホッケーを楽しむ	地区選考会を経て、年代別日本代表選手 (U12,U15) を目指す 発掘プログラム等で才能を見出され、ホッケーのトレーニングを続ける	JHAエリートアカデミーや年代別日本代表に選出される (U12,U15) 年代別の国際大会等に出場する	年代別日本代表選手に選出される (U17,U18) 年代別国際競技大会で中心選手として活躍する	サムライ・さくらの代表候補選手に選出される 年代別国際競技大会でメダルを獲得する	サムライ・さくらの選手に選出される	サムライ・さくらの中心選手としてオリンピックでメダルを獲得する	オリンピック、ワールドカップでメダルを獲得する	オリンピック、ワールドカップで複数回、メダルを獲得する
どんなアスリートを目指すか	外で活発に遊ぶのが好きで用具を使う遊びを楽しめることも	ホッケーなどのチームスポーツを経験し、仲間と練習しながら勝利することを喜ぶプレーヤー	ルールや基本的な技術を学び、チームを意識したプレーを実践できるプレーヤー	自主的にトレーニングに取り組みながら、年代別代表選手にチャレンジするアスリート	チームメイトと協力し、社会性や創造性を育みながら、年代別代表選手にチャレンジするアスリート	主体的にトレーニングに取り組み、ホッケーに必要なスキルやフィジカルを身につけ、サムライ・さくらを目指しているアスリート	強いメンタルを身につけ、年代別の国際競技大会を経験しながら、サムライ・さくらを目指しているアスリート	競技に専念しながら日本代表としての自覚を持って、国際競技大会で活躍しているアスリート	サムライ・さくらにおいてリーダーシップを発揮して、中心的な存在として活躍しているアスリート	オリンピック、ワールドカップでメダルを獲得し、国内のアスリートから憧れの存在となるアスリート	世界のロールモデルとして、FIH Player of the yearに選出されるアスリート
どんな人が支えているか	家族、友人 教員	家族、友人 教員 所属チームスタッフ 地方協会 (PF)	家族、友人 教員 所属チームスタッフ 地方協会 (PF)	家族、友人 教員 所属チームスタッフ JHAアンダーカテゴリースタッフ 地方協会 (PF) 地域TID	JHAアンダーカテゴリースタッフ 所属チームスタッフ 地方協会 (PF) 地域TID 家族、友人 教員	JHAアンダーカテゴリースタッフ JHA代表チームスタッフ 所属チームスタッフ 日本リーグ機構 地方協会 (PF) 教員	JHA代表チームスタッフ 所属チームスタッフ 日本リーグ機構 国際審判員	JHA代表チームスタッフ 所属チームスタッフ 日本リーグ機構 国際審判員	JHA代表チームスタッフ 所属チームスタッフ 日本リーグ機構 国際審判員 スポンサー	JHA代表チームスタッフ 所属チームスタッフ 国際審判員 スポンサー	JHA代表チームスタッフ 所属チームスタッフ 国際審判員 スポンサー

【指導者育成部 (Advanced Coaching Development)】

□ JSPO公認ホッケーコーチ3、4養成講習会 (専門科目)

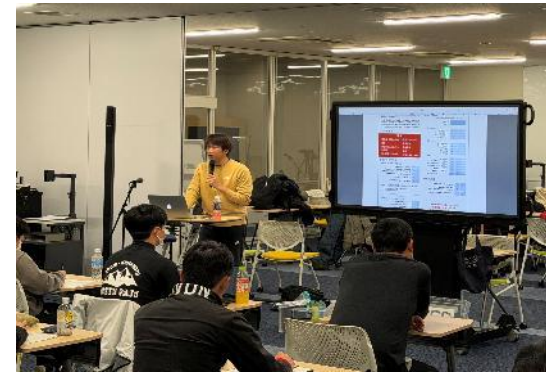
- アクティブラーニングの導入促進
- オンラインと対面の併用実施
- コーチ3、コーチ4の同会場・同時開催
- サムライ・さくらスタッフとの事前情報交換に基づく最新情報を踏まえた講義
- 2025年度実績

前期 (東京都) 6月7日～8日

後期 (大阪府) 1月17日～18日

1月31日～2月1日

受講者数 (コーチ3 : 36名、コーチ4 : 8名)



□ 2025年度 優秀指導者表彰

- 該当者なし



【指導者育成部 (Advanced Coaching Development)】

□ 海外優秀指導者招聘事業

ペナルティーコーナースペシャル技術コーチング

事業：海外優秀指導者による指導者向けコーチング

目的：国内のペナルティーコーナー技術の向上
(フリッカー・インジェクター・ストッパー)

会場：川崎重工ホッケースタジアム (岐阜県)
大井ホッケー競技場 (東京都)

指導者：Bram Lomens氏 (オランダ)

日程：2025年7月2日～10日

対象：コーチ (コーチ3以上所有者)

サムライジャパン/さくらジャパン選手・スタッフ、他



2-3. 2025年度の活動報告

事業本部

競技運営部、ホッケーファミリー未来部、ホッケータウン推進部

事業本部長 近藤聡史

ホッケーファミリーの「する」「みる」「ささえる」ができる場を
新しいチャレンジと共に創造する。

競技運営部

1. 国内外競技大会への役員派遣

- 主催・共催する大会及びブロック大会へ競技役員を派遣、国際大会への派遣

2. 競技大会への出場、公認競技役員資格取得のための登録実施

- 国内ホッケー関係者（役員・選手・各種競技役員）を登録システムを通して実施

3. 競技規則の策定及びホッケー競技規則（ルールブック）の発行

- 常に正確で新しいホッケー（ルール）情報発信、国際連盟情報発信の継続

4. 施設・用器具の検定及び公認

- 国内ホッケーフィールドの審査・承認、用具製造販売事業者および人工芝販売企業の公認制度の運用

5. 競技役員（審判員・テクニカルオフィシャル）の資格付与

- 競技役員に対する技術の向上、資格認定のための講習会実施
また、ブロック協会等が主催する講習会の内容の正確性・統一性を図るため、競技運営部認定の講師を派遣

6. 全国ルール統一研修会の開催

- スムーズな大会運営をおこなうために、研修会をシーズン前に開催し、全国のホッケー関係者に対し競技規則、競技運営規定について共通の理解。解釈を図った

ホッケーファミリー未来部

- ・ JHA主催夢見るホッケー教室開催
- ・ 各都道府県協会様・民間企業様からご依頼の体験教室開催、講師の派遣
- ・ 全国スポーツ少年団ホッケー交流大会の開催
- ・ U12ドリームキャンプブロック選考会の実施
- ・ U12ドリームキャンプの実施
- ・ U12オールスター戦の実施

ホッケータウン推進部

- ・ 公式ホッケータウンの認定および認定イベントの企画実施
- ・ ホッケータウン交流促進、プレサミット等会議体の企画運営
- ・ 新規ホッケータウンの開拓

国内競技会【主催・共催】

- 主管協会、主管団体のご協力のもと、主催、共催の全国大会を開催
- 大会役員、競技役員の派遣等を通じて充実した競技運営と円滑な大会運営をおこなった



2025年度 競技会【主催・共催】実績

全国大会：18開催



2025年10月31日時点

公益社団法人 日本ホッケー協会

2025年度 国際・国内競技会 主催・共催計画

大会名	大会回数	期間	主管協会・運営	会場	主催・共催
高円宮杯2025ホッケー日本リーグ(サムライリーグ)	第24回	4月12日(土)~11月30日(日)	ホッケー ジャパンリーグ	・越前町常朝日総合運動場・川崎重工ホッケースタジアム ・今市青少年スポーツセンター人工芝競技場・OSPホッケースタジアム ・山梨学院ホッケースタジアム・阿須運動公園ホッケー場 ・立命館OICフィールド・大井ホッケー競技場(メインピッチ・サブピッチ) ・駿河台大学ホッケー場・三成公園ホッケー場 ・小矢部ホッケーフィールドby三井アウトレットパーク	共催
高円宮杯2025ホッケー日本リーグ(さくらリーグ)	第29回	4月19日(土)~10月12日(日)	ホッケー ジャパンリーグ	・駿河台大学ホッケー場・山梨学院ホッケースタジアム・立命館OICフィールド ・コカ・コーラレッドスパークスホッケースタジアム ・川崎重工ホッケースタジアム ・今市青少年スポーツセンター人工芝競技場 ・大井ホッケー競技場(メインピッチ・サブピッチ) ・赤磐市熊山運動公園多目的広場	共催
男子 ネーションズカップ	第3回	6月15日(日)~6月21日(土)		マレーシア・クアラルンプール	FIH
男子ユース アジアカップ		7月3日(木)~7月13日(日)		中国・遼州	AHF
女子ユース アジアカップ		7月3日(木)~7月13日(日)		中国・遼州	AHF
全日本大学ホッケー王座決定戦・東西交流戦	第44回	7月10日(木)~7月13日(日)	関西学連	立命館OICフィールド 親里ホッケー場	主催
全国高等学校ホッケー選手権大会	男子第88回 女子第67回	8月2日(土)~8月6日(水)	鳥取	鳥取県立八頭高等学校ホッケー場(W) ヤマタスポーツパーク(天然芝3面)	共催
社会人女子プレミアムカップホッケー	第2回	8月9日(土)~10月19日(日)	各開催地協会	・今市青少年スポーツセンター人工芝競技場 ・コカ・コーラレッドスパークスホッケースタジアム ・大井ホッケー競技場(サブピッチ)	共催
全日本中学生ホッケー選手権大会	第55回	8月16日(土)~8月18日(月)	同大会実行委員会	男子:綾川町ふれあい運動公園 女子:松前町団体記念ホッケー公園ホッケー場	主催

全国スポーツ少年団ホッケー交流大会

- 日程 : 2025年9月13日～15日
場所 : 大井ホッケー競技場
男子優勝 : 各務原レッドスポーツ少年団 (連覇・3回目)
女子優勝 : 各務原オレンジスポーツ少年団 (2年振り・7回目)



優勝 各務原 (かがみはら) レッドスポーツ少年団 (連続・3回目)



優勝 各務原 (かがみはら) オレンジスポーツ少年団 (2年振り・7回目)

全日本中学生ホッケー選手権

- 日程 : 2025年8月16日～89日
場所 : 男子 綾川町ふれあい運動公園 (香川県綾川町)
女子 松前町国体記念ホッケー公園 ホッケー場 (愛媛県松前町)
男子優勝 : HC HYOGO HEARTS (初優勝)
女子優勝 : かかみがはらホッケークラブ (連覇・2回目)



優勝・HC HYOGO HEARTS (初優勝) Photo by 北原茂樹



優勝・かかみがはらホッケークラブ (連覇・2回目) Photo by 西村 卓

全国高等学校ホッケー選手権

- 日程 : 2025年8月2日～6日
会場 : 鳥取県立八頭高等学校 ホッケー場 他
男子優勝 : 島根県立横田高等学校 (連覇・9回目)
女子優勝 : 福井県立丹生高等学校 (4年連続・10回目)



優勝・福井県立丹生高等学校 (4年連続・10回目) Photo by 佐藤茂樹



優勝・島根県立横田高等学校 (連覇・9回目) Photo by 佐藤茂樹

全日本学生ホッケー選手権

- 日程 : 2025年10月30日 ~ 11月3日
会場 : 大井ホッケー競技場 メインピッチ・サブピッチ
男子優勝 : 天理大学 (連覇・33回目)
女子優勝 : 山梨学院大学 (6年振り・10回目)



優勝・天理大学 (連覇・33回目) Photo by 佐藤茂樹



優勝・山梨学院大学 (6年振り・10回目) Photo by 佐藤茂樹

全日本社会人ホッケー選手権大会

- 日程 : 2025年9月6日～10日
 会場 : 青森県立三沢高等学校 ホッケー場 他
 男子優勝 : LIEBE 栃木 (3連覇・4回目)
 女子優勝 : H・F・C-HANNO (連覇・2回目)



優勝・LIEBE 栃木 (3連覇・4回目) Photo by 佐藤茂樹



優勝・H・F・C-HANNO (連覇・2回目) Photo by 佐藤茂樹

競技運営部) 主催共催大会実績

国民スポーツ大会ホッケー競技

日程 : 2025年10月1日～5日
 会場 : OSPホッケースタジアム 他
 少年男子優勝 : 岩手県 成年男子優勝 : 岐阜県・栃木県
 少年女子優勝 : 福井県 成年女子優勝 : 広島県・岐阜県





競技運営部) 主催共催大会実績

全日本マスターズホッケー大会

日程 : 2025年9月20日~21日
 会場 : 小矢部ホッケーフィールド by 三井アウトレットパーク 他



女子45歳以上の部 優勝 FUJISABE (NEO 茨城県) Photo by 佐藤英樹



男子45歳以上の部 優勝 FUJISABE (NEO 茨城県) Photo by 佐藤英樹



男子55歳以上の部 優勝 宇都宮UP (宇都宮) Photo by 佐藤英樹



男子65歳以上の部 優勝 宇都宮UP (宇都宮) Photo by 佐藤英樹



女子45歳以上の部 優勝 KOTOBUKI (広島県) Photo by 佐藤英樹



男子75歳以上の部 優勝 ゴールド (奈良県) Photo by 佐藤英樹



女子80歳以上の部 優勝 Good (高山県) Photo by 佐藤英樹

全日本ホッケー選手権大会

- 日程 : 2025年11月20日～23日
- 会場 : 大井ホッケー競技場 (メインピッチ)
- 男子優勝 : GIFU ASAHI BLUE DEVILS (2年振り・7回目)
- 女子優勝 : コカ・コーラ レッド スパークス (2年振り4回目)



優勝・GIFU ASAHI BLUE DEVILS (2年振り・7回目) Photo by 西村 卓



優勝・コカ・コーラレッドスパークス (2年ぶり・4回目) Photo by 西村 卓

競技運営部) 主要大会・国際大会への競技役員派遣、交流

● 主要大会への競技役員派遣

- ・ JHA主催、共催の全国大会への派遣
- ・ 各ブロック大会へのニュートラル派遣
- ・ HJL大会への派遣
- ・ 強化本部と連携し、合宿、選考会に審判員を派遣

● 国際大会派遣、交流

- ・ 国際大会への派遣
- ・ FIH/AHF/NFの指名・推薦により、各種国際大会への参加

国際を目指す審判講習会

日時：2025年10月12日 10:00～
会場：大井ホッケー競技場
講師：Coen van Bunge (NED)
FIH Umpire of the Year (2021-2022)



海外UM招致

日時：2025年11月20日～23日
大会：全日本ホッケー選手権大会
UM：Ravinderpal Singh (MAS)



競技運営部) 競技役員の育成について (講習会・試験)

競技役員の育成について (講習会・試験)

- **各ブロック、連盟開催での講習会開催 (T3/T4/B/C/D)**

競技役員に対する資質の向上、資格認定の講習会を実施。

競技運営部認定の講師を派遣し、講習会内容の正確性、統一性を図った。

継続して競技役員の確保に努める (特に女性審判の育成・国際を目指す審判員の育成)

- **2025年度昇格試験合格者数**

各ブロック予選・各種全国大会で開催

T1 : 4名、T2 : 13名、T3 : 7名、T4 : 186名

A級 : 3名、B級 : 8名、C級 : 30名、D級 : 155名

UM : 2名

- **国際を目指す審判講習会**

世界の舞台で活躍した審判海外から招致し、

国際で活躍を目指す審判員を対象とした講習会を開催

2026年度 ルール研修会

- 目的 : 2026年度の日本ホッケー協会主催・共催大会、ホッケージャパンリーグ、地方大会(予選会を含む)が、スムーズに運営され、ホッケー競技が益々普及発展していくために、競技規則、競技運営規程の正しい理解とその解釈について統一を図る
- 対象 : 各ブロック競技長・審判長/各関係団体競技規則・審判担当
2025年度ホッケージャパンリーグ加盟チーム/A級公認審判員
TD・ATD・UM(2024年度日本協会主催大会)/強化育成本部男女代表者
強化本部年代別カテゴリー代表者/競技運営部部員/競技運営部長推薦者
- 日時(予) : 2026年2月14日(土) ハイブリット開催
- 参加人数 : 120名



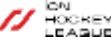




(出所) 各国NFの公式ウェブサイト及び民間サイト (<https://www.flashscore.es/>)
 ※一部Wikipedia経由
 ※イングランド：藤本一平氏より情報提供

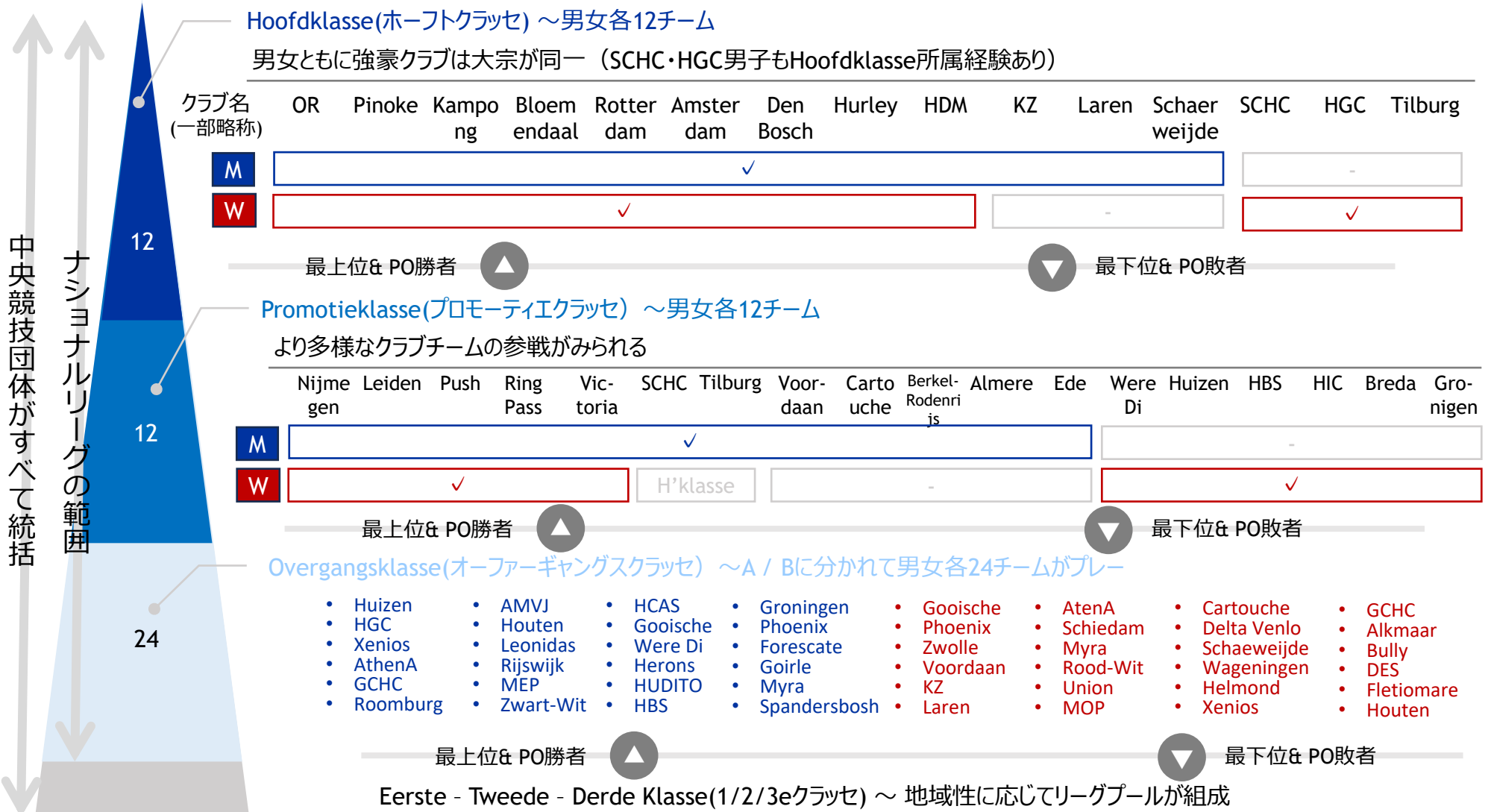
国際動向 (情報) の整理・把握の目的

プレイヤー・コーチ・オフィシャルの将来的な海外挑戦支援を見据え、FIH World Rankingの上位の常連、世界基準のリーディング国におけるリーグ情報等をタイムリー・体系的に把握。
 世界に引けを取らないJHAの「国際性」(最先端の**人財・情報・知識**)の基盤構築・強化、国際舞台での存在感向上を目指す。

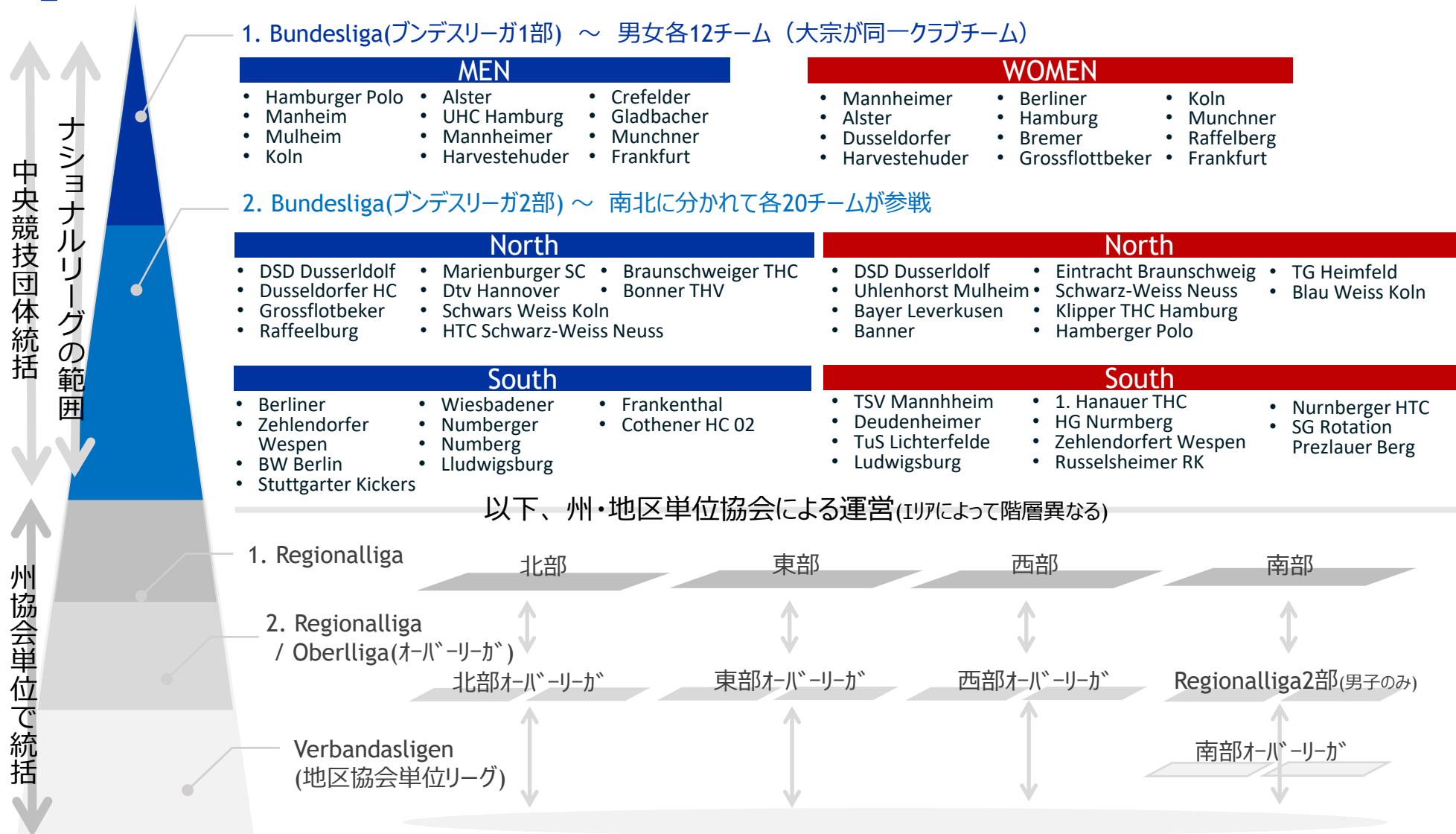
整理・把握国 (FIH Pro League参戦中の欧州諸国リーグ) の概観

	オランダ 	ドイツ 	ベルギー 	イングランド 	スペイン 
世界ランク ('26.2時点)	#1 #1	#3 #7	#2 #3	#7 #8	#6 #6
トップリーグ	Hoofdklasse	Bundesliga (1. Bundesliga)	iON Hockey League (Division of Honour)	Premier Division	División de Honor De Hockey Hierba
チーム数	12	12	12	12	12
フォーマット	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 上位4チームPlay-off進出 ✓ 最下位自動降格、10・11位はPlay-outで昇/降格 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ レギュラーシーズンは前期成績に応じてプール戦(6×6) ✓ Play-offは各プール上位4チームによるたすき掛け ✓ 各プール下位2チームは下位リーグを経て昇/降格 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 上位4チームPlay-off進出 ✓ 下位2チームは自動降格 10位はPlay-out戦にて、昇/降格 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ シーズン前半(phase1)の成績により上/下位6チームに分かれて後半(Phase2)リーグ戦 ✓ 上位4チームによりPlay-offリーグ戦(Phase3) 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 上位4チームPlay-off進出 ✓ 最下位は自動降格 ✓ 11位はPlay-out戦にて昇/降格
下位リーグ	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ナショナルリーグ3部構成・Promotieklass Overgangsklasse ✓ 以下地域リーグあり(1部・2部・3部・・・) 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ナショナルリーグ2部構成・2. Bundesliga (北部と南部に分かれる) ✓ 以下地域リーグ有(州単位)・Regionalliga Oberliga Verbandsliga 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ナショナルリーグ2部構成・National 1 ✓ 以下地域リーグについて体系的な情報はなし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ナショナルリーグは3部構成・Division1 North/South Conference ✓ 以下地域リーグあり(Area Hockey League)。ロンドンでは男女ともに6部まで存在。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ナショナルリーグは3部構成・Division de Honor B ✓ 以下地域リーグあり(州単位での運営)・Primera Division
開催期間 (目安)	9月～5月末/6月頭	9月～5月末	9月～5月末	9月～4月中旬	9月～5月末

(参考)オランダ : 1部から下部・地域リーグまで一貫したリーグストラクチャーを構築・運営



(参考)ドイツ：1部から下位まで昇降格は一貫しているが、地域リーグは州・地区単位統括



多様なホッケー人材の「国際性」向上に向けて ～ 将来展望

属性（プレイヤー・コーチ・オフィシャル等）を問わず、より多くの日本のホッケー人材が、世界の先端的で実践的な知見・ノウハウ・経験を得られるよう、JHAが情報の受発信主体（プラットフォーム）となり、すでに海外で実践的な知見・経験を有するファミリーからの情報収集や、諸外国のキーマンとの既存ネットワークを活かした情報収集機能を強化する（a. 受信機能の強化）と共に、今後、海外リーグへの挑戦を希望するファミリーへの情報提供のほか、挑戦を目指すファミリーと現地関係者・団体との「つなぎ」、現地リーグ挑戦に向けた（ハンズオン）伴走・相談対応機能の発揮（b. 発信機能の獲得）を目指す。
 （現時点の将来展望であり、実現を約束するものではない）

既存のアセットを活かして、まず取り組む事項

将来的に実現を目指す事項





HF未来部) U12ブロック選考会

8～9月にブロック地区で開催。今年度も370名程度の小学生世代のプレイヤーが参加。ブロック地区では、単に選考を行うだけでなく、各地区の社会人チーム選によるホッケークリニックや、ブロック単独合宿を開催する等、地域間交流の場となっている。また今年度は、夢見るホッケー教室ともタイアップし、オリンピックや元日本代表選手からのホッケークリニックやアドバイスを受けた。(九州ブロック地区)

ブロック	開催日時	会場	ブロック選考会参加人数	ブロック選考定数
北海道・東北	2025年9月21日(日)	宮城県栗原市一迫多目的広場	39名	14名
関東	2025年8月30日(土)	日光市市営ホッケー場	50名	17名
東海	2025年7月27日(日)	川崎重工ホッケースタジアム	38名	14名
北信越	2025年8月30日(土)	新潟県城山運動公園多目的広場	68名	23名
関西	2025年9月23日(火祝)	グリーンランドみずほホッケーグラウンド	69名	20名
中国・四国	2025年9月28日(日)	広島広域公園ホッケー場	62名	20名
九州	2025年9月27日(土)・28日(日)	穂訪屋外人工芝競技場	43名	12名
ブロック選考会参加人数 369名(昨年度355名)				



関西ブロック選考会の様子

九州ブロックでの様子

HF未来部) U12ドリームキャンプ 11月@京都瑞穂

11月29日(土)～11月30日(日)にグリーンランドみずほにて開催。

男女合わせて120名の選手が参加

単に技術の向上だけでなく、現役のサムライジャパン選手からの研修も開催し、将来の夢に向かって諦めない心を実体験をもとに講義いただくなど、「小学生世代の心身の育成」も図る。

	時間	内容
11月 29日	13時00分	開会 ※会場は午前9時から開放
	13時15分	ウォーミングアップ
	14時15分	ホッケースクール
	16時00分	U-12カップ(試合)
	17時30分	試合終了 ※宿泊施設までマイクロバス送迎あり
	18時20分	夕食、入浴 U12Tシャツを洗濯
	19時40分	研修(40分) 講師：河邊 皓星氏
	20時30分	就寝準備 20時30分(21時10分まで) 引率責任者・引率者対象、
	21時30分	消灯 指導者講習会 講師：渡邊宏樹氏
	11月 30日	6時10分
6時40分		集合、散歩、体操
7時15分		朝食
8時20分		宿泊施設出発 ※会場までマイクロバス送迎あり
9時00分		ウォーミングアップ、ホッケースクール(9時30分～10時10分)
10時20分		U-12カップ(試合)
11時50分		閉会式
12時10分	キャンプ終了 ※会場は午後4時まで開 JR園部駅まで送りあり(マイクロバス)	



主催：公益社団法人日本ホッケー協会 ホッケーファミリー未来部 U12育成グループ





HF未来部) U12オールスター戦 3月@東京大井

今年度は、2月28日(土)～3月1日(日)に、大井ホッケー競技場にて紅白戦を開催予定。

男女ともに各30名の選手が事前で開催されたドリームキャンプの参加者より選出。

昨年は味の素のパリオリンピックアスリートを実際にサポートされたスタッフの方よりパリオリンピックの食事の様子のお話を交ながら、スポーツ栄養学の研修を開催。

3月1日(土)12:30開会 3月2日(日)12:30終了予定。
ホッケースクール、交流試合、ルール研修、交流イベント等を実施。

日	時	内 容	備 考	
1日	12時30分	開会 ※会場は午前11時30分から開放	大井 ホッケー 競技場	
		ウォーミングアップ 講師：墨田恭平氏		
	12時45分	ウォーミングアップ 13:00～14:00		
		ホッケースクール 指導者、保護者対象アンチドーピング研修 講師：小野真由美氏 (メインピッチ内多目的室)		
	2時00分	U-12ホッケー オールスター戦(試合)		
	5時30分	試合終了 2日目に向けたオリエンテーション。 徒歩でゆいっつに移動		
	6時30分	ゆいっつに宿泊 夕食、入浴		
		7時40分から研修(40分) 講師：味の素勝ち飯プロジェクトチーム		
		8時50分		初日の行程終了 ※終了後、引率責任者、事務局会議を開催予定
		9時30分		消灯
2日	午前	6時30分	起床、散歩、体操	
		7時00分	朝食	
		8時00分	ホッケー場へ移動(徒歩で移動)	
	午後	8時30分	ウォーミングアップ、フィジカルトレーニング	
		10時00分	U-12ホッケー オールスター戦(試合)	
		12時15分	閉会式	
		12時30分	解散 ※会場は午後13時30分まで開放	

宿泊先
(ゆいっつ)



2024年度
U-12ホッケーオールスター戦
2025年3月1日(土)・2日(日) 大井ホッケー競技場

2024年度開催時の様子

HF未来部) Yumeプロジェクト

夢見るホッケー教室 夢見るホッケー教室：2024年6月～2025年2月、全国各地

ホッケー競技の普及と競技力向上のため、オリンピックや現役/元日本代表選手よりホッケーの楽しさと魅力を伝えるとともに、あらゆる人々がスポーツを楽しめる機会を提供し、地域社会に貢献。2025年度は全9回（12日程）を計画し、残すは1開催となっている。

- 10月からENEOS様より特別協賛をいただき、参加者が利用できる託児サービスを併設。



- 今年度は開催地の企業様・団体様からの協賛により、開催地別のノベルティを配布させていただいた。参加者には、ホッケー教室の思い出として好評をいただいた。

HF未来部) 夢見るホッケー教室 2025年度開催実績

第1回	6月28日 山梨県甲府市 山梨県立白根高等学校 第二運動場 (ホッケー場)
第2回	8月30日・31日 長野県駒ヶ根市 ふるさとの丘「アルプスドーム」
第3回	9月13日～15日 東京都品川区 大井ホッケー場 (全国スポーツ少年団ホッケー交流大会)
第4回	9月27日・28日 鹿児島県薩摩川内市 ※ ドリームキャンプブロック選考会 連携企画
第5回	10月12日・13日 北海道江別市
第6回	10月18日・19日 山形県川西町
第7回	11月 神奈川県川崎市 法政大学 第二高等学校グラウンド
第8回	1月 熊本県小国町 小国町林間広場ホッケー場
第9回	2月22日 岐阜県各務原市 川崎重工ホッケースタジアム

HOCKEY RISING PROJECT 2026年度開催予定

ホッケー競技の普及と競技力向上のため、オリンピックや元日本代表より、ホッケーの楽しさと魅力を伝えるとともに、あらゆる人々がスポーツを楽しめる機会を提供し地域社会に貢献。

従来の「夢見るホッケー教室」に加え、競技場にこだわらず、人のより多く集まる公共施設や商業施設など、未経験者がよりご参加しやすい場所での体験教室を計画。



HT推進部) 公式ホッケータウンの取り組み



ホッケーの普及、
振興、強化



地域活性化
に繋がる
サポート



JHAとして
の取り組み

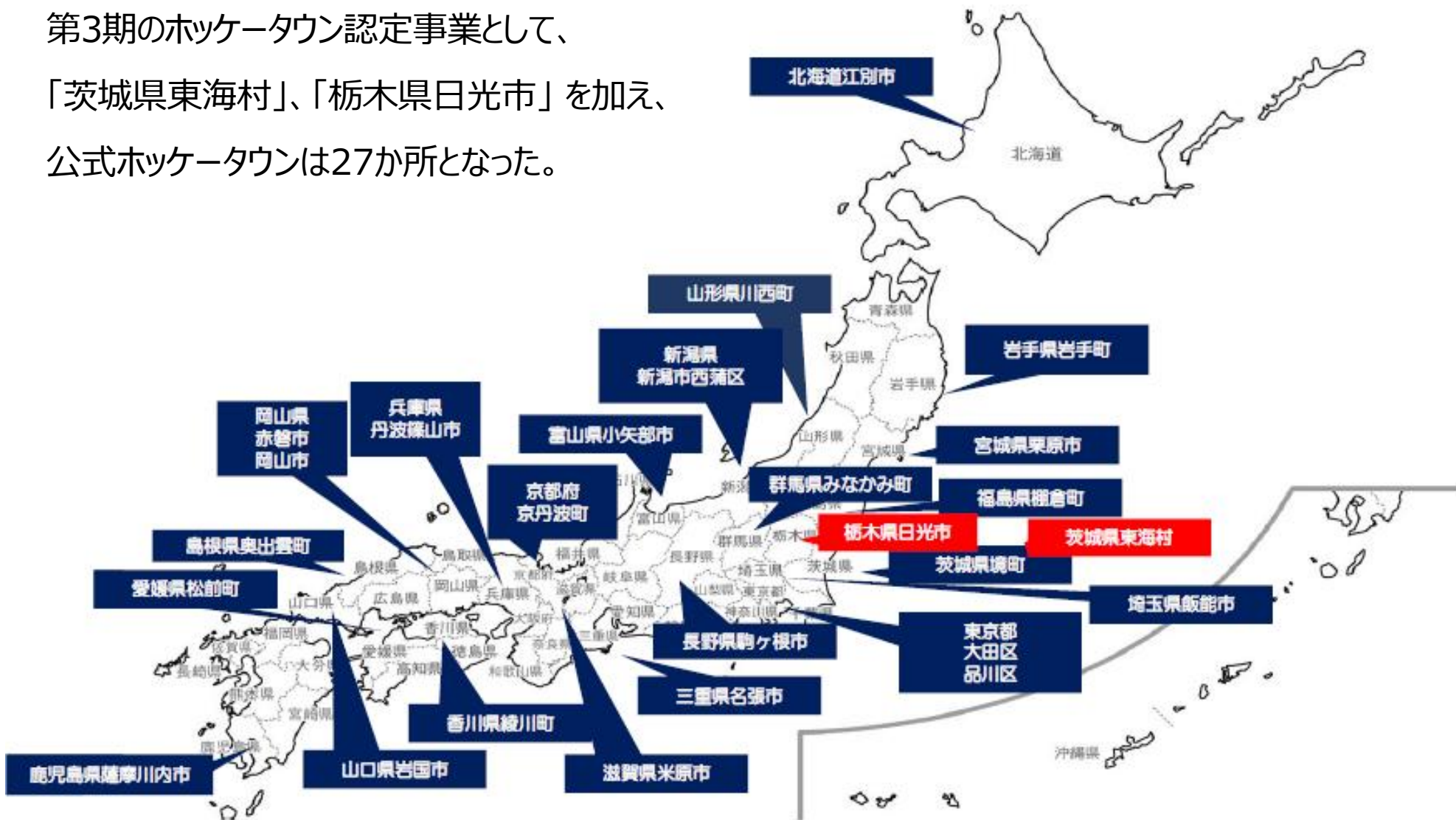
代表選手等の
派遣や代表合宿
の斡旋等

マルシェへの出店
による各地特産品
の紹介等

横断的な
情報共有等

HT推進部) 第3期公式ホッケータウン認定

第3期のホッケータウン認定事業として、
「茨城県東海村」、「栃木県日光市」を加え、
公式ホッケータウンは27か所となった。



HT推進部) 第3期公式ホッケータウン認定式

茨城県東海村
2026年2月8日



栃木県日光市
2026年2月27日 予定

日光市のホッケーについて

NEW DAY, NEW LIGHT.

日光市教育委員会事務局
スポーツ振興課

日光市に拠点を置くトップチーム

●LIEBE栃木 (男子ホッケーチーム)

平成27 (2015) 年、前身である栃木ホッケークラブのメンバーに県内出身の大学生を加えて結成。チーム名の「LIEBE」は、ドイツ語で「愛」を意味し、「ホッケーを愛する気持ち」と「栃木を愛する気持ち」という2つの愛を込めて命名。

日光市に拠点を置くトップチーム

●グラクソ・スミスクリンOrange United (女子ホッケーチーム)

昭和55 (1980) 年の「藤の菓園体」を契機に、栃木県ホッケー協会の後援を受けた日本グラクソ薬品株式会社が昭和52 (1977) 年に選手を採用し、同社員と市高校のOGで結成されたチームが前身。多くのオリンピック選手を輩出。

ホッケーエキスパート事業

東海村発足70周年記念事業

ホッケーフェスティバル2026 in 東海村
with ラフェット・テラブル

日時 2月8日(日) 10:00~15:00

場所 茨城県立東海高校ホッケー場/グラウンド/駐車場

ホッケータウンTOKAI
ロッヂ 中岡さんがやってくる!

国内トップリーグで活躍する選手たちによるエキシビジョンマッチを開催!!

特別ゲスト
ロッヂ 中岡 新一さん

★ホッケー未経験者でも気軽に楽しめる体験コーナーもあります!

★ホッケー未経験者でも気軽に楽しめる体験コーナーもあります!

★ホッケー未経験者でも気軽に楽しめる体験コーナーもあります!



東海村70周年記念事業の中で実施。
ロッヂの中岡さんも参加し、みなさんで記念撮影。



HT推進部) 公式ホッケータウン代表合宿の受け入れ

富山県小矢部市 2025/5/27~5/31 サムライジャパン



岩手県岩手町 2025/7/18~7/25 サムライジャパン





HT推進部) 公式ホッケータウン代表合宿の受け入れ

岡山県岡山市、赤磐市 2025/10/15~10/24
 さくらジャパン、U-21さくらジャパン



東京都品川区 2025/12/16~12/20 サムライジャパン



HT推進部) 公式ホッケータウン代表合宿の受け入れ

鹿児島県薩摩川内市 2026/1/8~1/12 さくらジャパン





HT推進部) 公式ホッケータウンでのイベント

新潟県新潟市西蒲区 2025/2/22



ホッケーにじかん-goo
オリンピック選手やスピードハンターがやってくる！
2025年2月22日【土】
城山運動公園屋内コート

9:00 オープニングセレモニー
9:15 ホッケー体験指導
10:45 エンターテインメント
11:40 速射のびっくや、スピードハンターのおもしろ体験

京都府京丹波町 2025/4/26

京丹波町発信 ホッケータウン交流企画

第2回京丹波町
スイーツ
ホッケー
フェスティバル

親方貴けい道場なく、ホーホッケーもエンジョイこそを目的としたイベントです。
甘いスイーツを食べながらホッケーを楽しみましょう！



2-4. 2025年度の活動報告

コーポレート本部

広報部、国際部、法務・コンプライアンス推進部

コーポレート本部長 安西浩哉



JHAおよびホッケーの社会的信用と存在価値を高め、
協会運営の基盤づくりに貢献する。

各部の活動概要

広報部

1. JHA-HPの運営 : 迅速なアップデート、常に正確で新しいホッケー情報発信の継続
2. 動画/JHA-YouTube : 大会のLIVE配信の推進と持続可能な動画撮影体制の構築
3. 代表チームの活動情報を伝えるPR発信、在京メディアを中心としたメディアとの関係強化
4. イヤーブックの発行

国際部

1. FIH・AHFとの連携を密にし、世界におけるJHAの存在価値の向上
2. FIH・AHF会議への参加（理事としての活動）
3. 代表チームの強化に資する国際ネットワーク構築
4. 国際分野で活躍する人材の育成

法務・コンプライアンス推進部

健全な協会運営と環境づくりに寄与し、対外的な信用を高め、協会やホッケーの価値向上に資する

1. 契約書類の確認・作成、訴訟対応、その他各部門からの法務案件について
相談体制を整備し、法務リスクを発見・軽減
2. 法令等遵守を前提に、実情に適応した協会内各種規程等を整備
3. ホッケー協会内や関連団体へコンプライアンスの周知徹底を行う取り組みを推進



迅速なアップデートと、
常に正確で新しいホッケー情報発信の継続による
「速報性」と「確実性」のある情報のアーカイブ

- 日本協会の運営に関する情報の提供
- 国外・国外競技会や行事開催に関する情報の提供
- ホッケー日本代表の活動や戦績等の情報の提供



会場に来れない人や観返したい人に届ける **「試合観戦機会」**と
ホッケー・スキルの向上やトレーニングのヒントに繋がる
「楽しいコンテンツ」の提供

- JHA公式YouTubeチャンネル登録者数 8960人 (前年同期比6%増)
- 2025年配信30本、ライブ配信9本 (2024年配信30本、ライブ配信5本)

JHAの事業に関する最新情報の提供とファン（ホッケーファミリー）との交流の場をFacebook、Instagramに常時開設



- 協会主催や代表選手が絡むイベントの実施報告や告知
- ホッケーファミリー拡大と協会の事業に絡めた共通タグの活用の継続
「#つながろうホッケーファミリー」「#ここではホッケーがメジャースポーツだ」 など
- 躍動する選手の姿を効果的に伝えるリール動画の投稿強化の継続
- 掲載数増強に向けたコンテンツ制作協力者、情報提供者の拡大
 - アンダーカテゴリーの代表チームの海外大会の様子や試合のライブ配信に関する情報告知機会増強の継続（大会帯同スタッフとの協働）
 - サムライジャパン、さくらジャパンアカウントとの連携
 - 映像制作系専門学校との連携による動画作成
 - ホッケー公式アンバサダー、インフルエンサーにも絡めた記事の投稿
 - 学生ライターの活用の検討

フォロー数拡大の成功事例に関する情報の収集

- パリ五輪時のTeam JapanのSNS戦略について学ぶ会合に出席

ホッケーマガジンイヤーブック2024年度版 (No.162)

- 制作期間：約2か月、制作部数：500部
定価 2,200 円 (税込)
A4判 138 ページ オールカラー

日本ホッケーの年間の歩みをまとめた記録集を制作、発行した。



24年度版では、パリ五輪のふりかえりとして、さくらジャパン、サムライジャパンそれぞれのキャプテンに対するインタビューを特集として掲載したほか、各カテゴリ代表に関する情報、2024年度に開催された国内大会のレビュー、大会記録といった情報を紙面上でアーカイブしている。

昨年度おこなった誌面構成の再検討に基づき、**情報を「よりコンパクト」に「より見やすく」というコンセプトを深化できるよう取り組んだ。**

1. 国際ホッケー連盟 (FIH)

(1) 理事会

第1回 6月13日 @オランダ・アムステルダム市 (出席者：安西)
第2回 11月 2日 @フランス・エヴィアン市 (出席者：安西)



2. アジアホッケー連盟 (AHF)

(1) 理事会

第1回 4月26日 @インドネシア ジャカルタ (出席者：安西・近藤)
第2回 12月28日 Online (出席者：近藤)

「日本スポーツ協会登録者処分規程における処分手続き (事実調査の方法) に関する説明会への参加 (zoom)」

日本スポーツ協会主催

日 時：令和7年10月15日 (水) 14:00～16:00

場 所：JSOS14階 岸清一メモリアルホール

プログラム内容：

- (1) 処分手続きの流れ
- (2) 処分手続きにおける注意点について

「スポーツ団体ガバナンスコードに関するワークショップ」への参加

スポーツ庁主催

日 時：令和7年11月27日（水） 14:00～16:00

場 所：JSOS14階 岸清一メモリアルホール

プログラム内容：

- ・ スポーツ団体ガバナンスコード原則13（地方組織等に対するガバナンスの確保、コンプライアンスの強化等に係る指導、助言、支援を行うべきである）に関して、
 1. 日本ラグビー協会・齋藤守弘氏による講演 + 質疑応答
 2. 4-5人ずつのグループに分かれて、グループミーティング
- — — 課題や事例の横展開、計画の実施に向けたディスカッションを実施

令和7年度コンプライアンス委員会 (R7.4.1~R8.2.10現在)

第1回 : 5月13日

(参加者 : 三須、北野、多氣、近藤、箸本)

第2回 : 8月25日

(参加者 : 三須、北野、多氣、奥田、箸本)

令和7年度コンプライアンス研修 (役員対象)

第1回 : 10月21日 (理事会に合わせて開催)

(参加者 : 理事、監事)

2-5. 2025年度の活動報告

専門委員会

アンチ・ドーピング/インテグリティ委員会、アスリート委員会、社会共創委員会

専務理事 多氣洋平



社会の一員として果たすべき役割や責任を明確にし、
その啓発および発展性のあるテーマの深堀を行う

各委員会の活動概要

AD（アンチ・ドーピング）・インテグリティ委員会

- JADA（日本アンチドーピング機構）が実施する検査、教育等に関する事項および JOC（日本オリンピック委員会）が実施するインテグリティ教育事業に関わる事項を管理し、各事業を円滑に進める
 1. AD並びにインテグリティ教育活動の実施とさらなる充実
 2. 国内競技会でのドーピング検査の準備および違反事案の結果管理、JADAとの連携

アスリート委員会

- アスリート目線でのホッケーの認知向上と普及、競技継続における課題の明確化
- 世代横断的にアスリートをサポートし、ニーズを集約
- LGBTQやジェンダーギャップ、スポーツメンタル等各種研修の開催
- ホッケークリニックの定期開催

社会共創委員会

- ホッケーと社会双方がWin-Winとなる持続可能な取組みの開発
- SDGs軸でのホッケーの社会貢献。関連団体との連携
 1. スポーツを通じた環境保全の啓発

AD・インテグリティ委員会) クリーンスポーツEducator制度

2021年に改訂されたアンチ・ドーピング教育に関する国際基準に即した教育の推進のため、JOC、JSPO、JSCをはじめ、JHAでは3名のクリーンスポーツEducatorが対応。

U15研修：ホッケー日本代表中央選考会（宮城県栗原市花山青少年自然の家）開催時



87名のアスリートが参加しました。

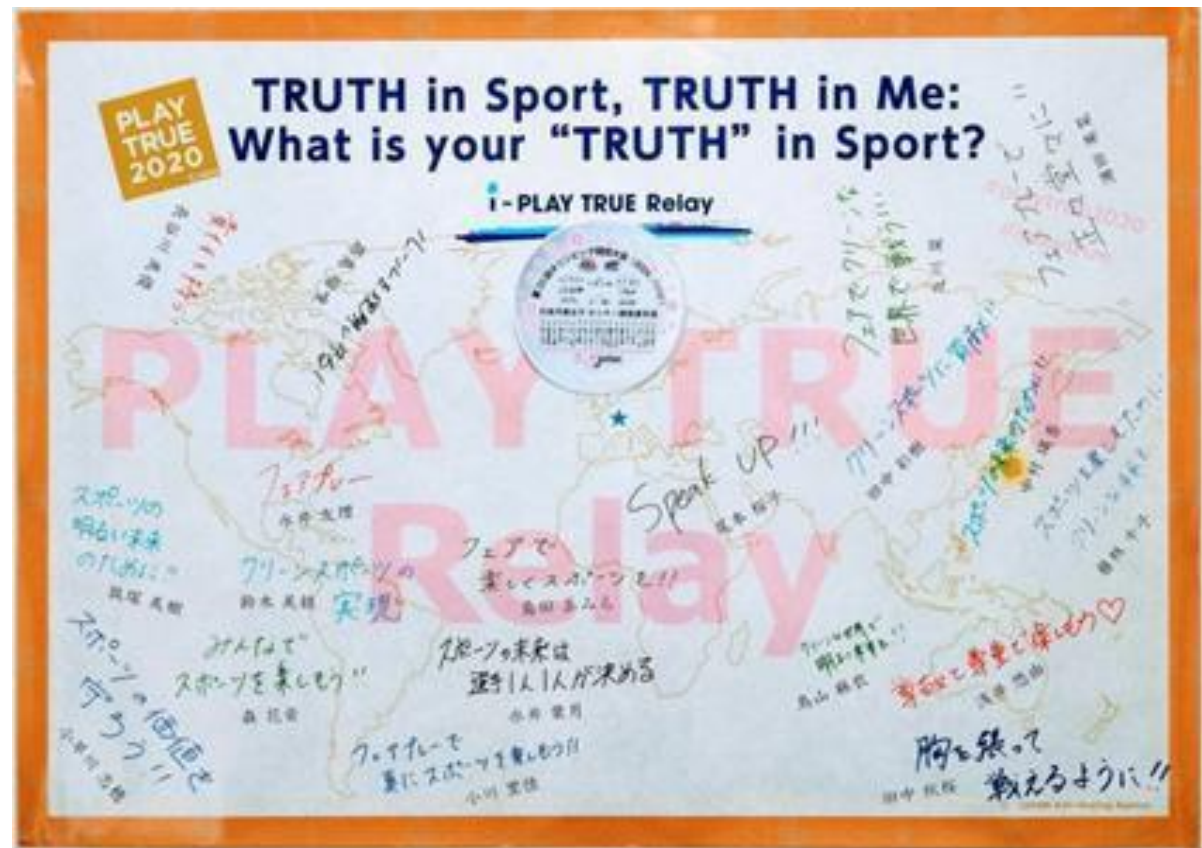
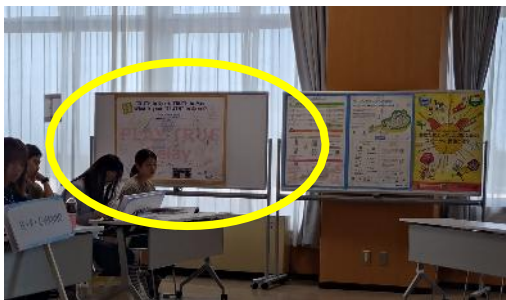
この研修はJADA派遣承認Educatorにより行われ、JHAから2名のEducatorも参加しました。

2025年度は3名のEducatorが、U18男女とU12保護者を対象にクリーンスポーツ対面研究を行います。

AD・インテグリティ委員会) 「PLAY TRUE」キャンペーン

さくらJAPAN(パリ五輪出場選手)PLAY TRUEの寄せ書きには、選手名が追加されており、各県における大会の代表者会議や大会本部で掲示されました

全日本社会人ホッケー選手権大会代表者会議 (青森県三沢市) 開催時



アスリート委員会) さくら・サムライジャパンスキルアップイベントの開催

3月 (さくらジャパン) / 12月 (サムライジャパン) 実施

《 開催の目的 》

- ・ オリンピアンへの価値向上
- ・ ファンづくり
- ・ 次世代選手の育成・モチベーション向上
- ・ トップ選手の知見、経験の共有
- ・ 世代・カテゴリを超えたホッケーコミュニティの形成



《 参加者の感想 》

- ・ かなり満足度が高いので改善点はありません
- ・ DF MF FWに分かれての練習時間をもう少し長く取って欲しかった。
- ・ 質問対応の時間がもう少し欲しかった。
- ・ 今回、疑問を自由に聴けたのが良かったので、今回のようなセッションを継続していくのが良いと思います。
- ・ 代表チーム (サムライ、さくら) がどんな練習をするのか、「公開練習」のような機会があれば、有料でも見学したいです。できれば大井で。
- ・ サムライジャパンの練習方法を知りたいです。現役選手と一緒に練習してみたい。プレーすると凄さが判ると思いますので。今回企画頂いてありがとうございました。

アスリート委員会) さくら・サムライジャパンスキルアップイベントの開催

12月7日 大井ホッケー場にて実施



高校生・大学生カテゴリ



マスターズ・一般カテゴリ

アスリート委員会) 女性コンディショニング研修の開催

3月25日WEB/6月2日リアルで実施

《 開催の目的 》

- ・ 女性アスリートの身体・コンディション（生理、ホルモン、体調変動、栄養）への正しい理解促進
- ・ パフォーマンス低下や離脱を防ぐための知識共有と環境づくり
- ・ 男性指導者を含めた指導現場全体の理解向上
- ・ 安心して競技を続けられる、持続可能なスポーツ環境の構築



3月25日WEB/6月2日リアルで実施

《 研修後参加者アンケート 》

① 理解・安心感の向上

- ・ PMS・PMDD、生理痛に悩んでいるのは「自分だけではない」と感じ、安心した
- ・ 月経やホルモンの仕組みを知ることで、自分の状態を客観的に捉えられるようになった
- ・ 生理は競技生活後も続くテーマであり、長期的に向き合う必要性を実感した

② 行動変容・前向きな意識

- ・ 月経周期・体調変化を把握し、**工夫や対策を考えたい**という意識が高まった
- ・ ピルや医療機関（婦人科・女性アスリート外来）を**選択肢として知れた**
- ・ 体・栄養・メンタルを含めたコンディション管理への意識が向上

③ 現場ニーズ・今後への期待

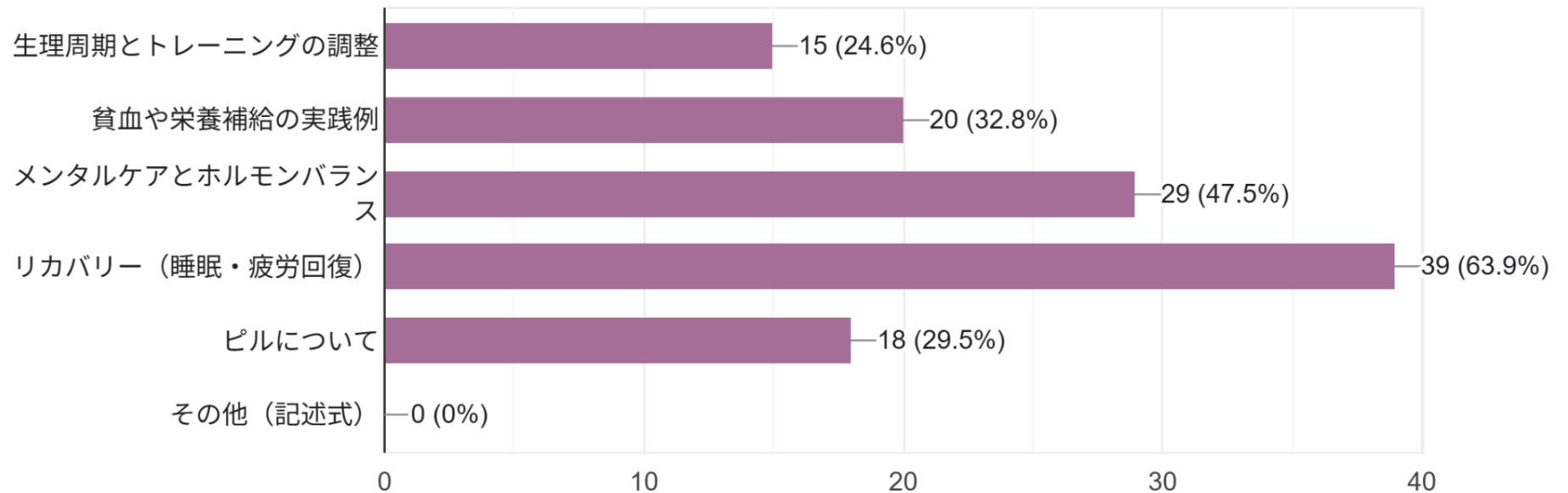
- ・ ピルが使えない選手への対策、PMS以外の症状（ニキビ・腰痛・筋肉痛）への関心
- ・ スポーツ貧血・栄養・他分野の研修への要望
- ・ **男性スタッフにも理解してほしい**という声が多数

3月25日WEB/6月2日リアルで実施

《 研修後参加者アンケート 》

今後、もっと詳しく学びたいテーマはありますか？

61件の回答



アスリート委員会) 渋谷区との継続的連携・モデル構築に向けて

11月16日渋谷スポーツフェス2025への出店

11月9日北渋ランランフェス (雨天中止)

《 参加の目的 》

- ・ 単発イベントに留まらず、地域×競技団体×アスリートの連携モデルを構築
- ・ 将来的なスポーツ施策・教育・健康分野への展開を見据える



11月16日渋谷スポーツフェス2025への出店

11月9日北渋谷ランランフェス（雨天中止）

《 イベントを終えて 》

- ・ 本イベントには、200名を超える親子が参加し、ホッケー体験への高い関心が確認された
- ・ 参加者から「どこでホッケーができるのか」といった声が多く聞かれ、競技継続の場や情報提供の重要性が明らかに
- ・ 競技普及において、実施場所確保および自治体連携・地域ニーズとのマッチングが不可欠であることを実感
- ・ 単発の体験機会にとどまらず、継続的な参加に繋がる受け皿（拠点・環境）づくりの必要性が示唆された



東京大学男子ホッケー部の皆さんがサポートスタッフとして参加

JOCの環境理念に基づいた活動の実施

- 各競技大会をはじめ、様々なイベントでポスターや横断幕の掲示とプログラム広告を掲載し、啓発活動に取り組んだ。



2-6. 2025年度の活動報告

事務局

事務局長 坂本幼樹

事務局の業務内容

所在地 : 東京都新宿区霞ヶ丘町4-2
JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 502号室
(略称: JSOS)

入居形式 : 定期建物借地契約

- 貸主 JSPOおよびJOC
- 面積 54m² (16.4坪)
- 賃料 349,920円/月 ⇒ 年間約420万円
坪単価 21,384円 (税込)

設備など : 執務用デスク10人分、小打ち合わせスペース、
書類保管壁面キャビネット等を備える
※ 岸記念体育会館時代に存在した倉庫機能なし



● 業務時間

- 定時 9:30～18:00
- 総会・理事会や大会時には週末出勤
- コロナ禍を経てテレワークの推進を実施。
 - ・ 固定電話からメールベース・担当者携帯電話に対応を移行。
 - ・ 代表電話の対応は基本11:00～15:00へ

● 主に12の分野の業務を担当

- 4事業本部および各委員会メンバーとの連携を行い業務を推進

項目	主な業務内容
1.協会運営	<ul style="list-style-type: none"> ・ JOC,JSC,JSPO,JADA,内閣府,文科省/スポン対 ・ 正会員、理事・監事管理 ・ 都道府県協会・関連団体管理 ・ システム管理（メール、ファイル） ・ 証明書発行 ・ 叙勲、表彰、冠婚葬祭対応 ・ 宮家・顧問対応 ・ 中長期計画の管理
2.総務関連	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員サービス管理 ・ 諸規定、文書管理 ・ 契約管理 ・ 登録規程・登録システム管理 ・ 安全管理、危機管理
3.経理関連	<ul style="list-style-type: none"> ・ 銀行入出金・口座管理、現金管理 ・ 帳簿入力管理 ・ 予算決算管理 ・ 税務対応 ・ 資産管理
4.会議体運営	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総会運営 ・ 理事会、業務執行理事会、情報共有会運営 ・ 議事録作成

項目	主な業務内容
5.強化関連	<ul style="list-style-type: none"> 助成金関連事務（強化計画・実績管理報告、コーチ設置事業など） HPD及びコーチ契約管理 NTC、JISS利用管理 旅行会社対応（入札管理） 保険管理（付保、保険金） 五輪派遣手続き アスリート向け教育支援 エリートアカデミー実施支援
6.競技会関連	<ul style="list-style-type: none"> 大会補助金管理 開催地との調整 プログラム挨拶文等手配 ドーピング検査管理 競技役員データ管理 施設・用具認定管理 競技規則管理
7.広報関連	<ul style="list-style-type: none"> ホームページ、SNS運用 スチール写真素材 大会ライブ配信・ハイライト製作対応 記者会見、メディア問い合わせ対応 イヤーブック、カレンダー作成 FIH/AHF/JOCとの広報連携

項目	主な業務内容
8.普及関連	<ul style="list-style-type: none"> 指導者講習会諸手続 指導者データ管理 AT、ドクター管理 夢見るホッケー教室開催支援 体験会開催対応、指導者派遣
9.国際関連	<ul style="list-style-type: none"> FIH、AHF連絡窓口 JOC国際部対応、各種会議出席
10.レガシー	<ul style="list-style-type: none"> 国スポレガシー対応 オリンピックレガシー対応（大井ホッケー競技場関係、東京都）
11.HJL連携	<ul style="list-style-type: none"> 試合・大会開催日調整（国際大会との調整や競技役員派遣など） トップリーグ連携機構対応 協働マーケティング推進
12.その他	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ団体ガバナンスコード対応 弁護士等専門家対応 国スポのありかた議論対応 愛知名古屋アジア大会対応 物販等企画 ホッケー振興議連対応 コンプラ事案初動対応 役員賠償保険管理

正規雇用5名、有期雇用1名、臨時職員2名、出向者1名 + 新規正規雇用1名増員予定

個人情報につき割愛



チーム登録数の推移（1996・2014～2024年度）

- チーム登録数は2014年度からの11年間ほぼ横ばい（約568→563チーム）
2024年度の構成は、高校（167チーム/30%）、中学（142チーム/25%）で半数を占める
⇒ 2019年度（東京2020大会直前）のピーク時619チームからは▲53チーム（内、スポ少▲14）減少
⇒ 長期では、中学・スポ少・マスターズは増加の一方で、**一般男子、大学女子、高校チーム数が2割以上減少**

JHAチーム数・登録者数推移

2014年度～2024年度の11年間

●チーム数（単位：チーム）

	一般			大学			高校			中学			スポ少			マスターズ			合計	内訳	
	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計		男子	女子
参考 1996年度 ※1,2	82	31	113	46	34	80	113	96	209	52	41	93	28	30	58	NA	8	NA	561	321	240
2014年度	50	33	83	42	29	71	96	85	181	70	61	131	42	35	77	22	3	25	568	322	246
2015年度	53	32	85	44	31	75	95	80	175	71	62	133	38	33	71	20	5	25	564	321	243
2016年度	62	35	97	44	32	76	92	77	169	73	64	137	43	38	81	21	3	24	584	335	249
2017年度	68	37	105	44	30	74	95	77	172	77	66	143	46	45	91	24	10	34	619	354	265
2018年度	71	41	112	46	31	77	99	76	175	66	59	125	42	41	83	26	11	37	609	350	259
2019年度	60	35	95	44	29	73	95	76	171	77	72	149	46	39	85	30	13	43	616	352	264
2020年度（コロナ禍）	64	27	91	43	28	71	91	73	164	64	56	120	39	34	73	19	5	24	543	320	223
2021年度	59	34	93	43	29	72	86	74	160	78	74	152	46	37	83	18	4	22	582	330	252
2022年度	59	30	89	42	28	70	87	74	161	81	71	152	44	38	82	23	7	30	584	336	248
2023年度	57	30	87	42	27	69	85	78	163	69	66	135	42	34	76	32	9	41	571	327	244
2024年度	55	31	86	43	27	70	88	79	167	77	65	142	39	32	71	24	3	27	563	326	237
対前年比	-2	1	-1	1	0	1	3	1	4	8	-1	7	-3	-2	-5	-8	-6	-14	-8	-1	-7
増減数（1996 vs. 2024）	-27	0	-27	-3	-7	-10	-25	-17	-42	25	24	49	11	2	13	NA	-5	NA	2	5	-3
増減数（2014 vs. 2024）	5	-2	3	1	-2	-1	-8	-6	-14	7	4	11	-3	-3	-6	2	0	2	-5	4	-9
増減数（2019 vs. 2024）	-5	-4	-9	-1	-2	-3	-7	3	-4	0	-7	-7	-7	-7	-14	-6	-10	-16	-53	-26	-27
単純増加率（1996 vs. 2023）	-32.9%	0.0%	-23.9%	-6.5%	-20.6%	-12.5%	-22.1%	-17.7%	-20.1%	48.1%	58.5%	52.7%	39.3%	6.7%	22.4%	NA	-62.5%	NA	0.4%	1.6%	-1.3%
単純増加率（2014 vs. 2023）	10.0%	-6.1%	3.6%	2.4%	-6.9%	-1.4%	-8.3%	-7.1%	-7.7%	10.0%	6.6%	8.4%	-7.1%	-8.6%	-7.8%	9.1%	0.0%	8.0%	-0.9%	1.2%	-3.7%
単純増加率（2019 vs. 2023）	-8.3%	-11.4%	-9.5%	-2.3%	-6.9%	-4.1%	-7.4%	3.9%	-2.3%	0.0%	-9.7%	-4.7%	-15.2%	-17.9%	-16.5%	-20.0%	-76.9%	-37.2%	-8.6%	-7.4%	-10.2%

※1 一般男子は一般男子50+実業団男子30、一般女子は一般女子24+実業団女子7の合計値

※2 マスターズ男子は集計区分なし。マスターズ女子は「家庭婦人」カテゴリーの数値

競技者登録者数の推移（96年度～14年度～24年度）

- 競技者登録数は96年度(約11,000人)から1割程度減少(2024年度10,094人/▲893人)
 - 長期では、一般男子、高校およびカテゴリーにかかわらず女子が減少傾向
- ⇒ 1996年度対比、一般男子▲271人、高校生▲1,357人

- 他方で、クラブチームに大会参加の門戸を開いた中学生世代は2023年度対比で約500人増加

JHAチーム数・登録者数推移
2014年度～2024年度の11年間

★登録者数（単位：人）

	一般			大学			高校			中学			スポ少			マスターズ			その他 国体等※4	合計	内訳	
	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計			男子	女子
参考 1996年度 ※6,7	1,575	573	2,148	943	647	1,590	2,520	2,107	4,627	1,002	665	1,667	391	418	809	NA	146	146	10,987	6,431	4,556	
2014年度 ※3	1,051	584	1,635	990	598	1,588	2,128	1,665	3,793	1,039	769	1,808	410	299	709	304	29	333	488	10,354	5,922	3,944
2015年度 ※3	1,321	562	1,883	1,066	640	1,706	2,173	1,631	3,804	998	756	1,754	425	293	718	366	63	429	380	10,674	6,349	3,945
2016年度 ※3	1,564	684	2,248	1,113	690	1,803	2,154	1,572	3,726	996	707	1,703	456	331	787	309	29	338	378	10,983	6,592	4,013
2017年度 ※3	1,679	673	2,352	1,085	680	1,765	2,124	1,502	3,626	990	714	1,704	506	393	899	416	101	517	299	11,162	6,800	4,063
2018年度	1,655	744	2,399	1,040	643	1,683	2,089	1,462	3,551	923	705	1,628	497	432	929	512	69	581	304	11,075	6,716	4,055
2019年度	1,466	666	2,132	1,048	647	1,695	2,096	1,491	3,587	919	726	1,645	487	385	872	567	151	718	352	11,001	6,583	4,066
2020年度 (コロナ禍)	1,265	395	1,660	877	569	1,446	1,814	1,372	3,186	734	580	1,314	401	285	686	231	26	257	37	8,586	5,322	3,227
2021年度	1,400	664	2,064	960	598	1,558	1,860	1,512	3,372	939	771	1,710	543	437	980	363	15	378	296	10,358	6,065	3,997
2022年度	1,246	562	1,808	941	561	1,502	1,835	1,459	3,294	886	665	1,551	449	305	754	456	111	567	464	9,940	5,813	3,663
2023年度	1,253	576	1,829	962	581	1,543	1,818	1,434	3,252	709	388	1,097	299	225	524	533	104	637	511	9,393	5,574	3,308
2024年度	1,304	615	1,919	1,037	565	1,602	1,872	1,398	3,270	916	679	1,595	433	348	781	379	46	425	502	10,094	5,941	3,651
対前年比	51	39	90	75	-16	59	54	-36	18	207	291	498	134	123	257	-154	-58	-212	-9	701	367	343
増減数 (1996 vs. 2024)	-271	42	-229	94	-82	12	-648	-709	-1,357	-86	14	-72	42	-70	-28	NA	-100	279	502	-893	-490	-905
増減数 (2014 vs. 2024)	253	31	284	47	-33	14	-256	-267	-523	-123	-90	-213	23	49	72	75	17	92	14	-260	19	-293
増減数 (2019 vs. 2024)	-162	-51	-213	-11	-82	-93	-224	-93	-317	-3	-47	-50	-54	-37	-91	-188	-105	-293	150	-907	-642	-415
単純増加率 (1996 vs. 2024)	-17.2%	7.3%	-10.7%	10.0%	-12.7%	0.8%	-25.7%	-33.6%	-29.3%	-8.6%	2.1%	-4.3%	10.7%	-16.7%	-3.5%	NA	-68.5%	NA	#DIV/0!	-8.1%	-7.6%	-19.9%
単純増加率 (2014 vs. 2024)	24.1%	5.3%	17.4%	4.7%	-5.5%	0.9%	-12.0%	-16.0%	-13.8%	-11.8%	-11.7%	-11.8%	5.6%	16.4%	10.2%	24.7%	58.6%	27.6%	2.9%	-2.5%	0.3%	-7.4%
単純増加率 (2019 vs. 2024)	-11.1%	-7.7%	-10.0%	-1.0%	-12.7%	-5.5%	-10.7%	-6.2%	-8.8%	-0.3%	-6.5%	-3.0%	-11.1%	-9.6%	-10.4%	-33.2%	-69.5%	-40.8%	0	-8.2%	-9.8%	-10.2%
CAGR (1996-2024)	-0.7%	0.3%	-0.4%	0.3%	-0.5%	0.0%	-1.1%	-1.5%	-1.2%	-0.3%	0.1%	-0.2%	0.4%	-0.7%	-0.1%	NA	-4.0%	3.9%	#DIV/0!	-0.3%	-0.3%	-0.8%
CAGR (2014-2024)	2.2%	0.5%	1.6%	0.5%	-0.6%	0.1%	-1.3%	-1.7%	-1.5%	-1.3%	-1.2%	-1.2%	0.5%	1.5%	1.0%	2.2%	4.7%	2.5%	0.3%	-0.3%	0.0%	-0.8%

※3 2014～2017年：個人登録⇒国体成年、個人登録（学生）⇒国体少年としてカウント

※4 国体（成年種別）、国体（少年種別）、中学11人制、マスターズ、JAPANリーグ、チームスタッフ、補正

※5 チームスタッフ登録区分は2022年度より実施（2022年度1,736人、2023年度2,504人）

※6 一般男子は一般男子920+実業団男子655、一般女子は一般女子456+実業団女子117の合計値

※7 マスターズ男子は集計区分なし。マスターズ女子は「家庭婦人」カテゴリーの数値



1チームあたり平均登録者数の推移（2014～2024年度）

- 2023年度は、中学およびスポ少で1チームあたりの人数が大幅に減少し、平均すると、6人制の単独チームが成り立つギリギリの水準
- 2024年度は多少改善の傾向がみられるものの引続き厳しい状況

JHAチーム数・登録者数推移

2014年度～2024年度の11年間

■ 1チームあたり平均登録者数（単位：人）

	一般			大学			高校			中学			スポ少			マスターズ		
	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計
参考 1996年度 ※6,7	19	18	19	21	19	20	22	22	22	19	16	18	14	14	14	NA	18	18
2014年度 ※3	21	18	20	24	21	22	22	20	21	15	13	14	10	9	9	14	10	13
2015年度 ※3	25	18	22	24	21	23	23	20	22	14	12	13	11	9	10	18	13	17
2016年度 ※3	25	20	23	25	22	24	23	20	22	14	11	12	11	9	10	15	10	14
2017年度 ※3	25	18	22	25	23	24	22	20	21	13	11	12	11	9	10	17	10	15
2018年度	23	18	21	23	21	22	21	19	20	14	12	13	12	11	11	20	6	16
2019年度	24	19	22	24	22	23	22	20	21	12	10	11	11	10	10	19	12	17
2020年度（コロナ禍）	20	15	18	20	20	20	20	19	19	11	10	11	10	8	9	12	5	11
2021年度	24	20	22	22	21	22	22	20	21	12	10	11	12	12	12	20	4	17
2022年度	21	19	20	22	20	21	21	20	20	11	9	10	10	8	9	20	16	19
2023年度	22	19	21	23	22	22	21	18	20	10	6	8	7	7	7	17	12	16
2024年度	24	20	22	24	21	23	21	18	20	12	10	11	11	11	11	16	15	16
増減数（1996 vs. 2024）	5	1	3	4	2	3	-1	-4	-3	-7	-6	-7	-3	-3	-3	NA	-3	-3
増減数（2014 vs. 2024）	3	2	3	1	0	1	-1	-2	-1	-3	-2	-3	1	2	2	2	6	2
増減数（2019 vs. 2024）	-1	1	-0	0	-1	-0	-1	-2	-1	-0	0	0	1	1	1	-3	4	-1
単純増加率（1996 vs. 2024）	23.4%	7.3%	17.4%	17.6%	10.0%	15.1%	-4.6%	-19.4%	-11.6%	-38.3%	-35.6%	-37.3%	-20.5%	-21.9%	-21.1%	NA	-16.0%	-13.7%
単純増加率（2014 vs. 2024）	12.8%	12.1%	13.3%	2.3%	1.5%	2.3%	-4.0%	-9.7%	-6.6%	-19.9%	-17.1%	-18.6%	13.7%	27.3%	19.5%	14.3%	58.6%	18.2%
単純増加率（2019 vs. 2024）	-3.0%	4.3%	-0.6%	1.3%	-6.2%	-1.4%	-3.6%	-9.8%	-6.7%	-0.3%	3.6%	1.7%	4.9%	10.2%	7.2%	-16.4%	32.0%	-5.7%
CAGR（1996-2024）	0.8%	0.3%	0.6%	0.6%	0.3%	0.5%	-0.2%	-0.8%	-0.4%	-1.7%	-1.6%	-1.7%	-0.8%	-0.9%	-0.8%	NA	-0.6%	-0.5%
CAGR（2014-2024）	1.2%	1.1%	1.3%	0.2%	0.1%	0.2%	-0.4%	-1.0%	-0.7%	-2.2%	-1.9%	-2.0%	1.3%	2.4%	1.8%	1.3%	4.7%	1.7%

JSC助成金の活用拡大 ⇒ 申請・報告事務負担の増大

	2025年度（交付決定額） - 15事業 合計9,616万円	2026年度（申請中）
くじ助成 ➤ スポーツ活動推進事業 ➤ タレント発掘・一貫指導育成事業 ➤ スポーツ団体ガバナンス強化事業 	計 13事業 9,016万円 ➤ スポーツ活動推進事業（約1,500万円） <ul style="list-style-type: none"> ・ 夢見るホッケー教室 ・ マスターズジャパンカップ ・ 海外指導者招聘事業 ・ イヤーブック制作 ・ 中学生都道府県対抗（11人制） ➤ タレント発掘・一貫指導育成事業（約7,400万円） <ul style="list-style-type: none"> ・ U-12ドリームキャンプ ・ U-12オールスター戦 ・ JHAエリートアカデミー第4期 ・ U-15日本代表選手選考会 ・ U-15日本代表海外遠征 ・ U-17/18日本代表選手選考会 ・ U-17日本代表海外遠征 ➤ スポーツ団体ガバナンス強化事業（72万円）	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> 審査中につき 詳細割愛 </div>
基金助成 	計 2事業 600万円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 全日本選手権（男子女子） ・ 大学選手権大会 	

3.令和7年度の財務状況と見通し

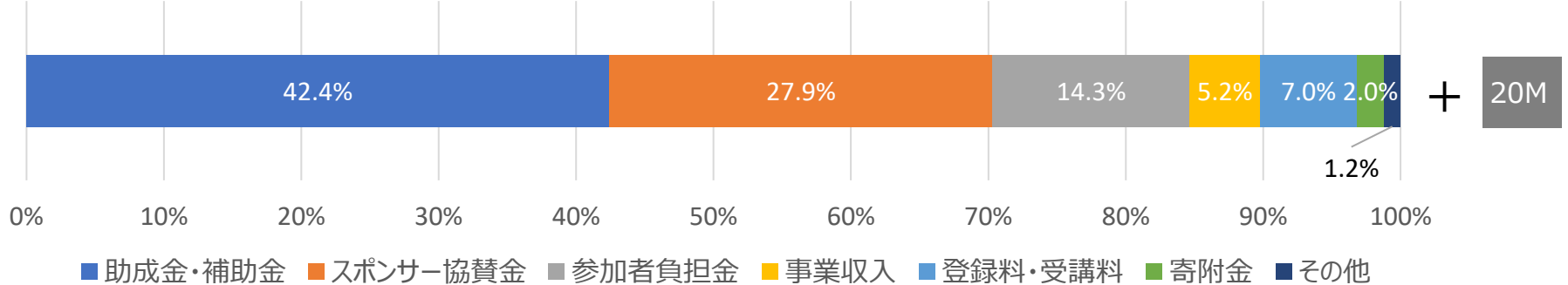
財務総括部長 福島雄裕

※本資料に記載の財務情報は新たな事実や今後の為替動向等により、大きく変更が生じる場合があります。
※本資料に記載する見解や評価は記載時点でのもので、将来を正確に予想することも困難です。
あくまで、現時点に判明している情報に基づき作成しておりますが、その正確性を保証するものではありません。

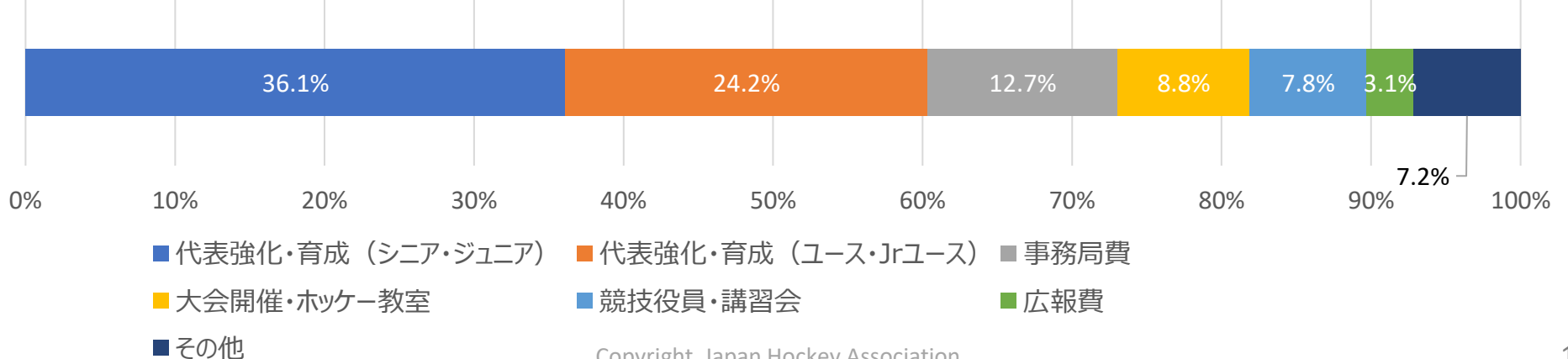
令和7年度（2025年度）の収支見込

- ✓ 現時点では、契約最終段階で剥落したスポンサー影響（1社 41.4M）により、5.1Mの赤字見込み
- ✓ 引き続き、①プロリーグ参加に向けた準備、②国際大会の日本開催の実現、③事務局体制の確立などを重点目標として、積立を含めた安定的な財務基盤の構築に向けた計画を進めていく

収益：458.7M = 経常収益438.7M（前年度：454.2M） + 公益充実資金取崩20M

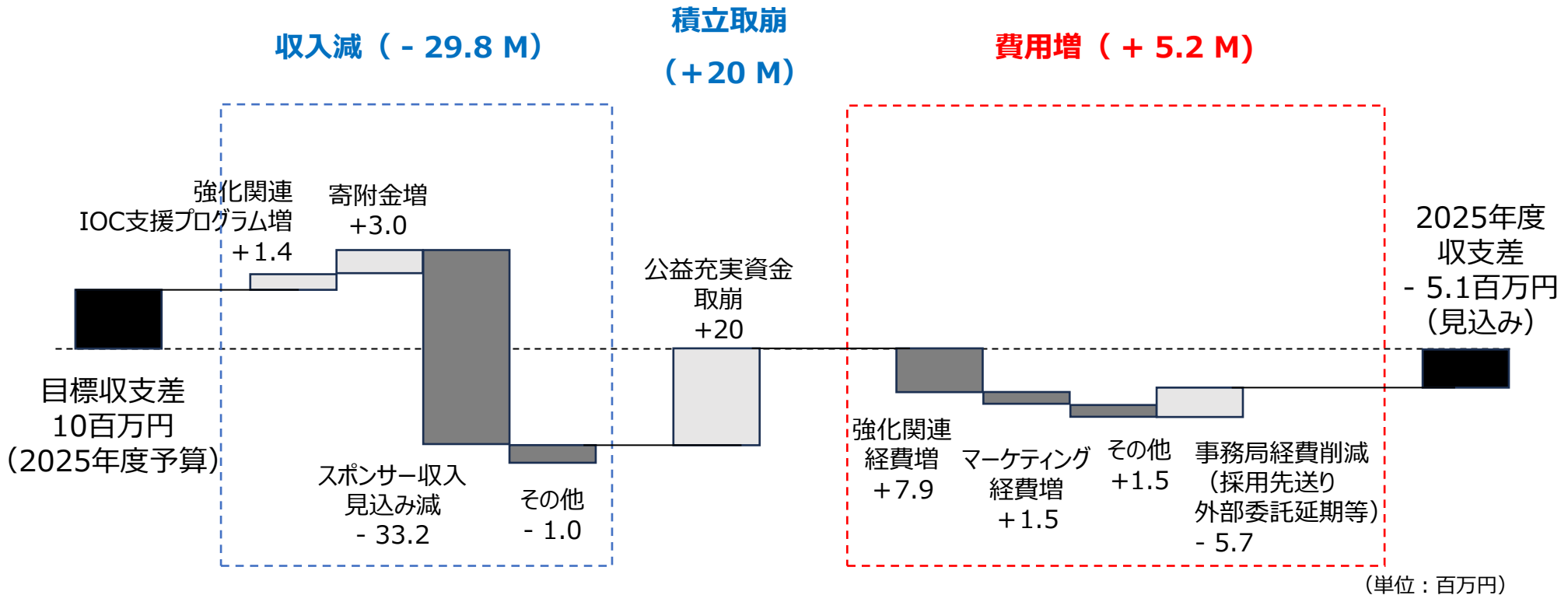


費用：463.9M（前年度：421.7M）



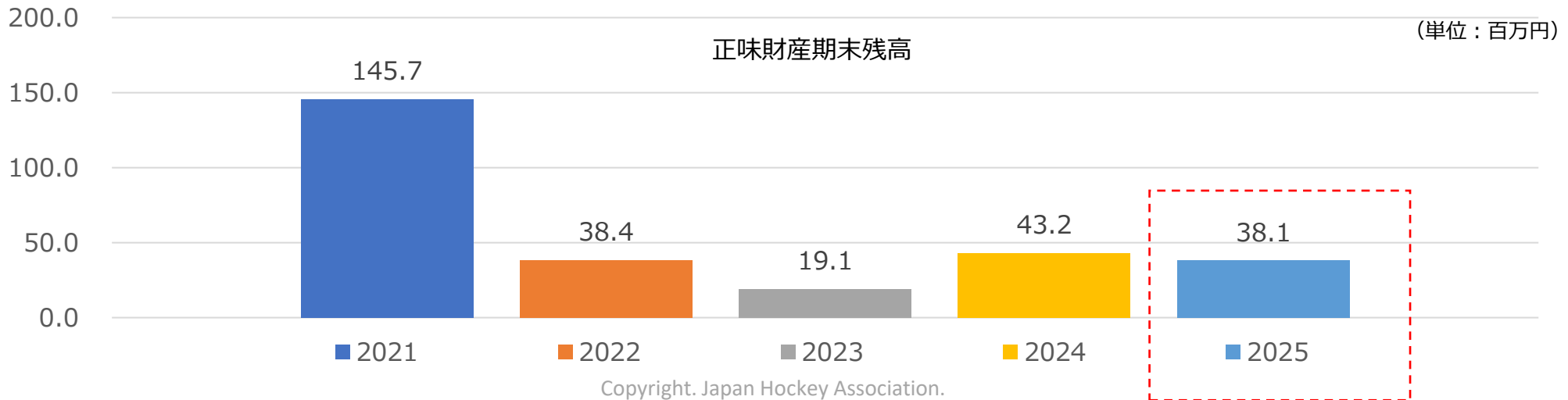
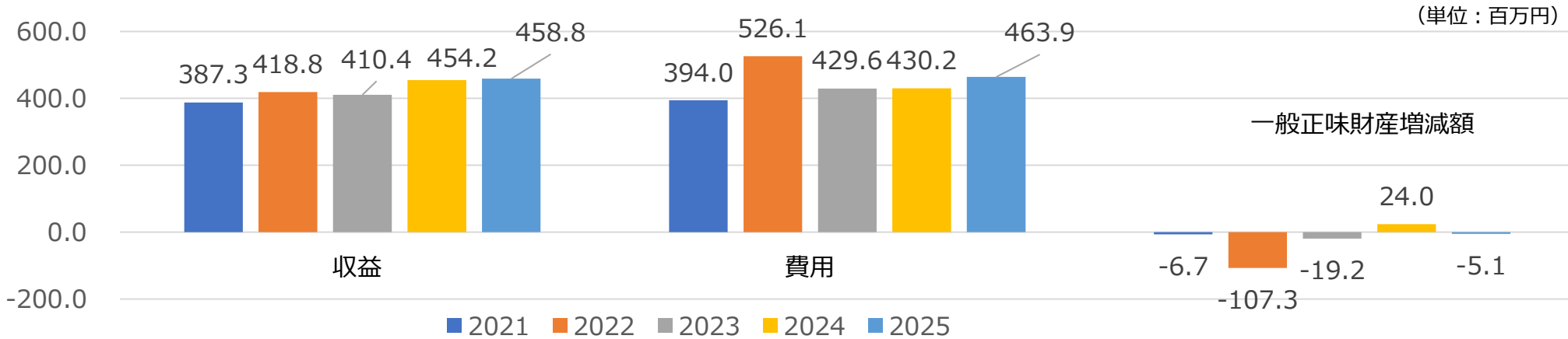
収支増減の要因 令和7年度（2025年度）

- ✓ 現時点では、予算策定時の収支目標 +10百万円に対して、- 5.1百万円の着地見込
- ✓ 20百万円の特定資産（公益充実資金・国際大会参加事業積立資金）を取崩す想定



2021年度～2025年度の財産増減および残高

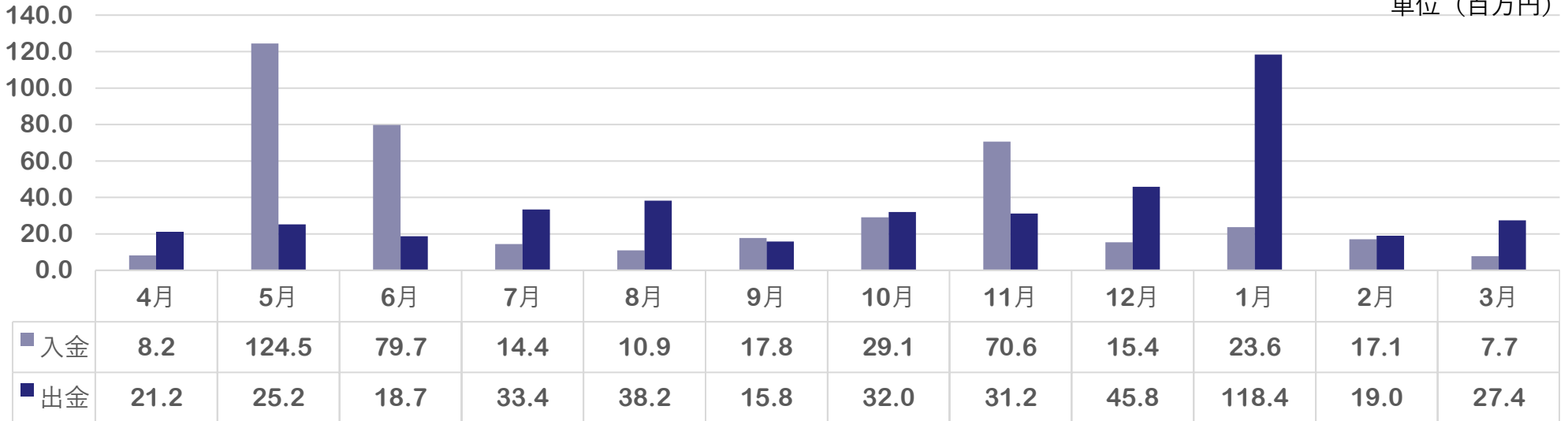
- ✓ 2025年度の期末残高は38.1Mを現時点で見込む
- ✓ 国際大会開催のための積立を行いつつ、安定した財政基盤を確立させていく方針は変わらない



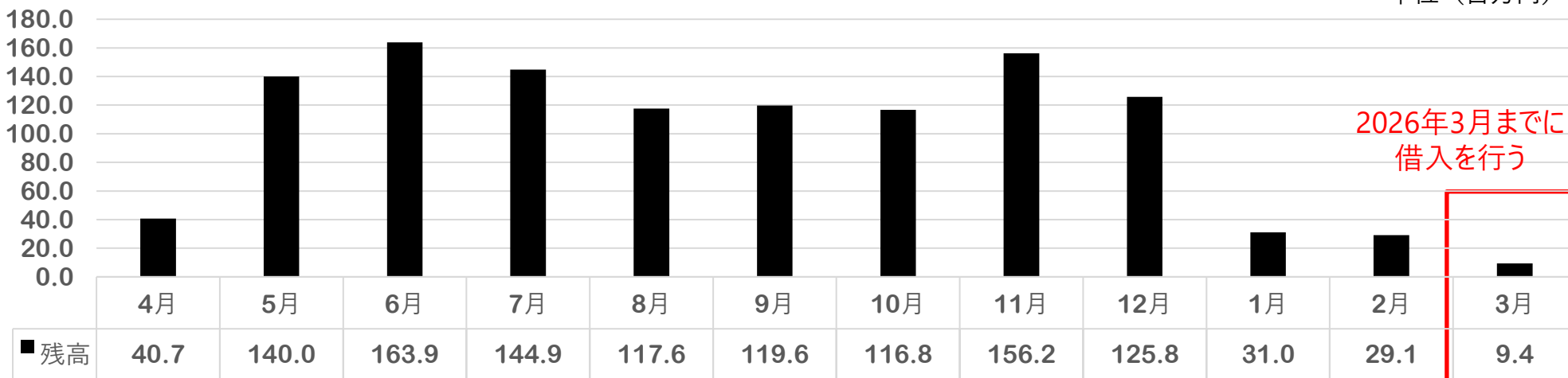
令和7年度（2025年度）資金繰り（見込み）

- ✓ 2025年度の資金繰りは以下の通り、2026年3月までに借入を行う必要がある
- ✓ 当初予算の計画通り、銀行借入27Mを2026年2月中に実行する

単位（百万円）



単位（百万円）



令和7年度（2025年度）銀行借入について

■2025年6月総会時の正会員の皆さまへのご説明（2点）

- ✓ 2025年2月に37Mの借入を行い、6月に利息含めて繰上返済した
- ✓ 2025年度の借入としては『2026年1月に27Mを借入れ予定』である

■2025年度の銀行借入について

- ✓ スポンサー剥落の影響（約41.4M）以外の資金繰りは見込み通り
- ✓ 一部の支払いサイトを1ヶ月延ばし、3月末の資金繰りを改善
（当然ながら、費用計上は年度内に行なうため、P/L上では改善しない）

■武蔵野銀行との借入について打合せ（1月16日）

- ✓ 金額：2700万円（昨年度：3700万円）
- ✓ 利率：年2.5%（昨年度：年1.8%）
- ✓ 期間：6ヶ月間（短期借入）：令和8年2月13日～8月12日 ※繰上返済可能

■理事会にて、上記内容の短期借入について承認（1月20日）

当初の計画通り、昨年度より1000万円減らした2700万円を借入
2026年6月までに一旦、全額返済を計画

質疑応答



全国都道府県ホッケー協会専務理事・事務局長連絡会

昼食休憩

13時10分より再開いたします。



全国都道府県ホッケー協会専務理事・事務局長連絡会

2. 日本代表チームの活動予定について



2030年まで

FIH PROリーグへの参戦

2032年ブリスベン五輪

100年ぶりのメダル獲得

2038年まで

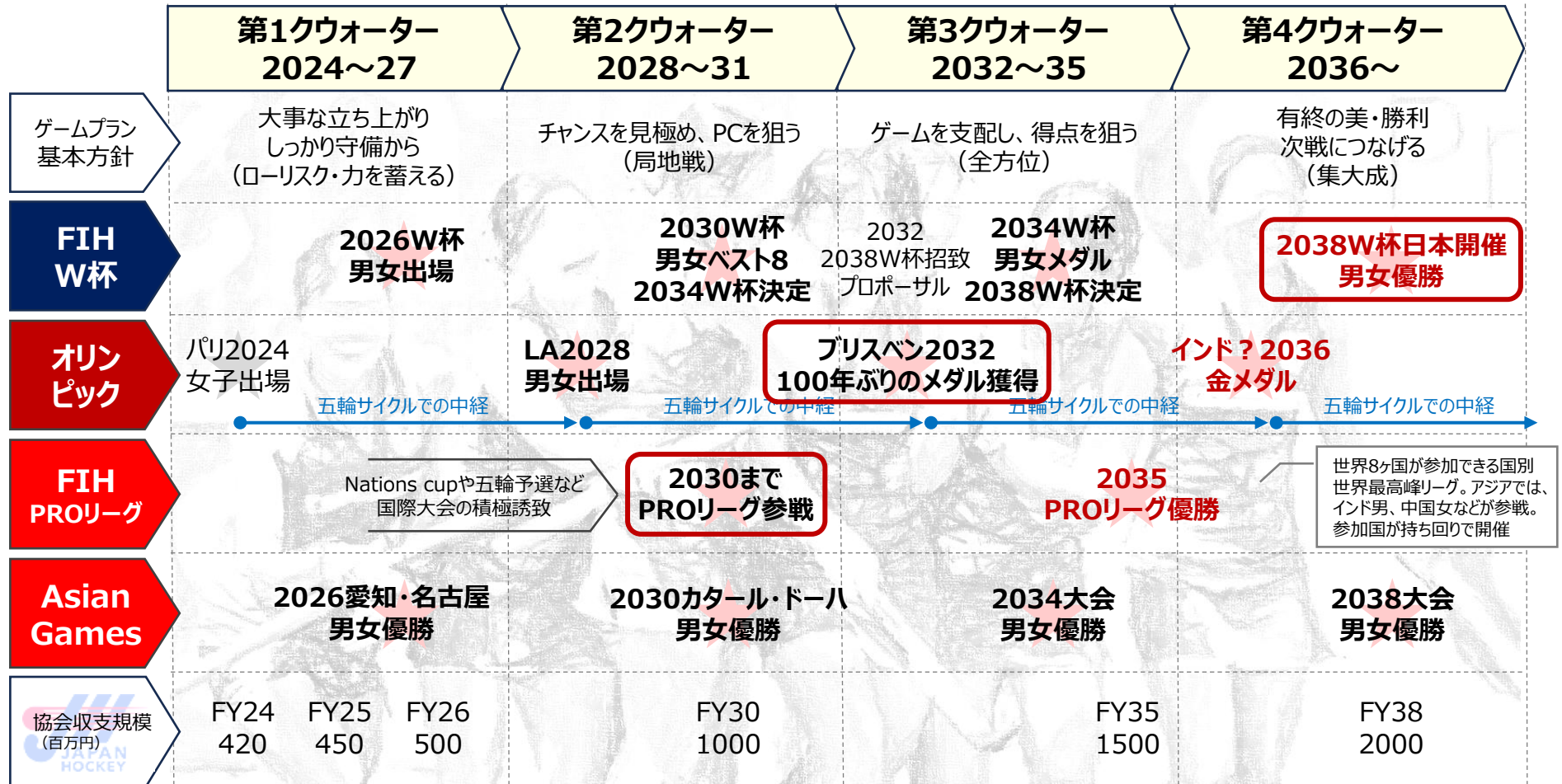
FIH World Cup 日本開催



世界レベルでの、代表強化、大会運営能力、集客&メディア発信力を養う為、
世界最高峰リーグ(FIH PROリーグ)への5年以内の参戦を目下の目標としています。

PROリーグへの参戦はこれまでにない大きな資金や人的リソースが必要となるが、強化・育成・普及・基盤が一体となって、
日本を地力を世界レベルに引き上げ、世界の強豪の一角として、永続的に世界大会で結果が出せることを目指したい。

ベンチマークとなる国際大会





ワールドランキング11位
(2025/11/10時点)



ワールドランキング18位
(2025/11/10時点)

ワールドカップ最終予選 2026年2～3月@チリ

ワールドカップ最終予選 2026年2～3月@エジプト

→男女とも、世界から16か国が参加し、2会場で8か国ずつの大会を開催。
各上位3チームと、4位の2か国のうちワールドランキングが上位のチームにW杯本戦への出場権が与えられる

FIHワールドカップ 2026/8/15～30 @ベルギー&オランダ共同開催

→女子:前回大会(オランダ)は6大会連続出場で11位。過去最高は5位、男子:前回大会(インド)は16年ぶりの出場で15位。過去最高は9位

愛知・名古屋アジア競技大会 2026/9/19～10/4 @岐阜県各務原市 (出場権確保済み)10か国(予定)

→アジア地域から10か国が参加(予定)。優勝国には2028年オリンピックのアジア代表枠が与えられる。日本は2018年に男女アベック優勝

オリンピック最終予選 2028/1～2月@未定

オリンピック最終予選 2028/1～2月@未定

2028年オリンピック 2028/7/14～30@米国・ロサンゼルス

緑でハイライトしている国はアジアでの競合国です。

●を付しているチームは、国別代表チームのワールドリーグ戦である、FIH PROリーグに参戦している事を示しています。

ランキングの上位国はいずれもPROリーグに参戦しており、日本代表も如何に早く参戦し、世界上位チームとの対戦数を増やしていけるかが重要と考えています。

	女子 トップ20
1	●オランダ
2	●アルゼンチン
3	●ベルギー
4	●中国
5	●スペイン
6	●ドイツ
7	●オーストラリア
8	●イングランド
9	ニュージーランド
10	インド
11	日本
12	アメリカ
13	●アイルランド
14	スコットランド
15	チリ
16	韓国
17	フランス
18	イタリア
19	ウルグアイ
20	南アフリカ

	男子 トップ20
1	●オランダ
2	●ドイツ
3	●ベルギー
4	●オーストラリア
5	●スペイン
6	●アルゼンチン
7	●インド
8	●イングランド
9	フランス
10	アイルランド
11	ニュージーランド
12	南アフリカ
13	マレーシア
14	●パキスタン
15	韓国
16	ウェールズ
17	エジプト
18	日本
19	スコットランド
20	カナダ

さくらジャパン

- ワールドカップ最終予選 2月チリ
- 日中韓NZ交流戦 4月 東京・岐阜
- ネーションズカップ 未定
- ワールドカップ 8月オランダ・ベルギー
- アジア大会 9月岐阜
- アジアC T 未定

U21女子

- ジュニアアジアカップ 未定

U18女子

- U18アジアカップ 5月各務原
- 日韓交流

U15女子

- 海外遠征 欧州予定

サムライジャパン

- ワールドカップ最終予選 3月エジプト
- 日中韓NZ交流戦 4月 東京・岐阜
- ネーションズカップ 未定
- ワールドカップ 8月オランダ・ベルギー
- アジア大会 9月 岐阜
- アジアC T 未定

U21男子

- ジュニアアジアカップ 未定

U18男子

- U18アジアカップ 5月各務原
- 日韓交流

U15男子

- 海外遠征 欧州予定

お願い) 日本代表チーム国内合宿招致

- 期 間 1週間から10日間程度
- 人 数 30名程度 (スタッフ5名 選手25名)
- 経費負担 滞在費・食費
- 内 容 ・地元チームとの強化試合
 ・子供たちへのホッケー教室・体験会
 ・地元住民への講演会・交流会 他



3. 地域の取り組み事例のご紹介

- ・岡山県赤磐市（岡山県ホッケー協会）
 - ・鹿児島県薩摩川内市（鹿児島県ホッケー協会）
 - ・山形県川西町（山形県ホッケー協会）
-



全国都道府県ホッケー協会専務理事・事務局長連絡会

4. 連絡事項



2027年度以降の「全日本マスターズホッケー大会」の開催地について

ホッケータウンを優先とした公募を開始

・ホッケータウンを優先とした理由

- ・ホッケータウンは、JHA創立100周年事業の一環として公式認定された市区町村
- ・ホッケー普及・施設・体制の観点から、開催地候補としての親和性が高い

・開催応募対象時期

- ・2027年度以降

・各機関の位置づけ

開催地選定・主催 : JHA / マスターズ部会

主管 : 地方ホッケー協会または大会実行委員会

※ ホッケータウンから応募がない場合は全国協会に公募展開

・公募スケジュール

3/9 (月)	ホッケータウン向け正式公募開始
4/30 (木)	締切
5月初旬	第2次公募 (全国向けに展開)
6/30 (火)	最終締切
8月中	開催地決定・発表



1. 改定の背景・目的

- 登録制度の運用実態を踏まえ、チーム登録と個人登録（ライセンス制）の位置付けを明確化するため。
- 登録種別・年齢区分を整理し、分かりやすく公平な登録制度とするため。
- 登録管理の効率化および大会運営の円滑化を図るため。

2. 改定のポイント（要点）

登録制度の基本構造を簡素化

チーム登録＋個人登録（ライセンス）を公式試合出場の必須要件として明確化。
「年度登録」「公式試合」等の用語を定義し、規程の解釈を統一。

チームの登録種別を再編し、次の2層構造へ整理。

チーム種別（男女区分）

HJL／社会人／大学／高校／中学／小学／マスターズ

個人区分を簡素化し、年齢による区分に変更

アンダー9（U9）／アンダー19（U19）／アンダー29（U29）／レギュラー

※個人登録用の特例的種別（国スポ・HJL等）は廃止し、制度を簡素化。

個人ライセンス制への移行

構成員は個人単位でJHAに登録（＝大会に参加できるライセンスが付与される）する仕組みとする。

- ・ スタッフ（監督・コーチ・役員）は、1回の個人登録で複数チームでの活動を可とする。
- ・ 選手については、同一年度内の複数チーム同時所属は禁止。

登録料体系の明確化

- ・ チーム登録料および個人登録料を別表で明示。
- ・ 個人登録料は年齢区分に応じた金額設定とし、U9は無料。
- ・ これまでの複数登録による登録料負担を軽減。

外国人選手の取扱い整理

- ・ 外国人選手の定義・大会取扱いを別記として独立整理。
- ・ 社会情勢を踏まえ排他的な取り扱いの廃止。

期待する効果

大会運営での確認作業や資格審査の省力化を図ると同時に、日本の真のホッケー人口が的確に把握できるようになる。

施行日（予定）

2026年4月1日施行

理事候補者の推薦及び組織変更について

時期		理事改選に関する主な扱い
2月	11日	(JHAカンファレンス) 改選および理事候補者推薦の案内 (理事会) 役員候補者選考委員会設置方針・構成案の承認
2月15日～3月15日		推薦期間
3月	下旬	推薦された候補者の取りまとめ 役員候補者選考委員会の委員構成の承認～設置
GW前後		役員候補者選考委員会の開催
5月	下旬	理事候補者の決定 →役員候補者選考委員会答申の確認、理事会決議 →定時総会招集通知、議案書にて正会員への案内
6月	20日予	定時総会（役員選任）、理事会で代表理事選任

2026年度より組織の改編をおこないます。

■ 組織改編の目的

スポーツ庁ガバナンスコードに則った運営透明性の一層の取り進め

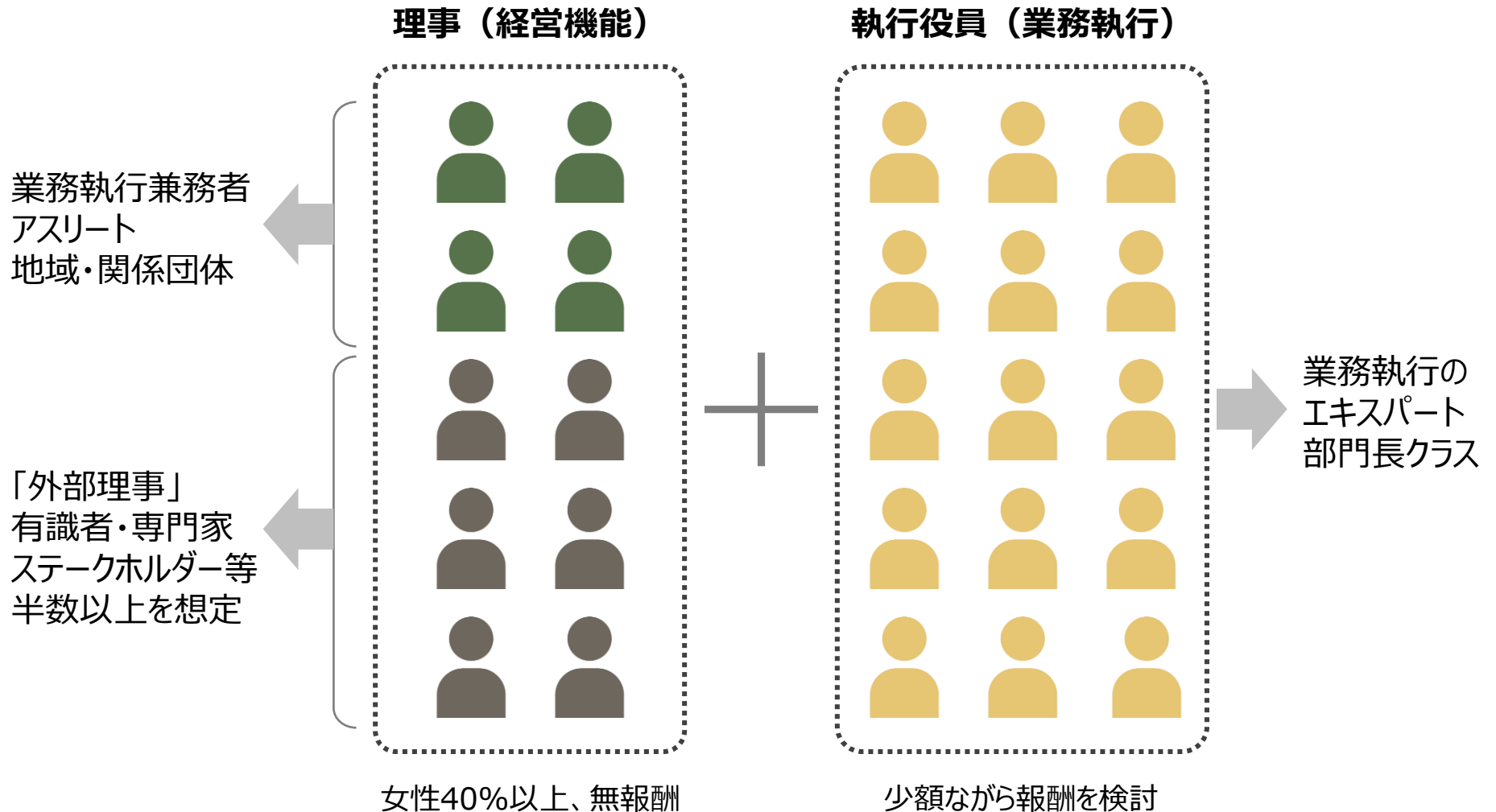
- ①経営と執行の分化によるガバナンスの強化
- ②業務意思決定の迅速化
- ③理事の多様性確保による、透明性の担保とステークホルダーとの関係深化

■ 現行制度の問題点

2022年より、理事構成についてスポーツ庁ガバナンスコードを達成（女性40%以上、外部25%以上）しましたが、理事が全員業務執行者を兼ねていることで、以下のような問題が顕在化しています。

- I．ガバナンスの懸念 ：業務執行者が監督者と同一である
- II．理事会の実効性の低下 ：業務執行の議論に時間が割かれがち
- III．外部理事の担い手不足 ：ホッケー以外の専門性を有する人財

現理事会を「経営機能」と「業務執行機能」に分け、役割を分担し、実効性の高い運営を行います。



経営機能 (理事会)

中長期視点での経営計画や方針策定
業務執行の監督機能
コンプライアンス事案の対応など

- a. 規程、細則の制定・改廃
- b. 予算の議決
- c. 決算の認定
- d. 事業計画の承認、事業運営の監視
- e. 重要な契約の締結
- f. 財産の取得および処分
- g. 審査請求、不服申立、訴え提起
- h. 損害賠償
- i. 検査・監査請求・意見書の提出
- j. 調査権等
- k. 寄付・贈与收受
- l. 総会に提出する議案の作成

業務執行機能

経営計画や方針に則った事業計画
の策定。事業実施予算の策定と執行、
実施体制づくり

- a. 事業計画の策定
- b. 予算の策定
- c. 事業の実施、予算の執行
- d. 部員の選定

→ 人員が慢性的に不足
ホッケー界全体の課題

【A. 経営関連】※必須

- ・経営戦略・組織運営 : 中長期戦略、組織マネジメント
- ・財務・会計・監査 : 予算管理、財務健全性、監査対応
- ・法務・コンプライアンス : 規程整備、不祥事防止、紛争対応
- ・リスク管理・安全管理 : 危機管理、Safeguarding

【B. スポーツ特有・事業／ガバナンス関連】

- ・競技力強化・指導者育成 : 強化戦略、育成パスウェイ
- ・競技普及・マーケティング : 競技人口拡大、スポンサー対応
- ・国際関係・国際対応 : IF対応、国際交渉、語学力
- ・インテグリティ : 倫理観、スポーツの価値の体現

【C. 多様性・人的要件】

- ・女性理事 (40%以上)
- ・外部理事 (経営・法務・会計等) (25%以上)
- ・アスリート出身者

参考) 役員候補者選考委員会の設置

- ・理事会の諮問機関として設置
- ・会長、有識者、正会員代表等で構成
(役員候補者選考規程 第4条)

役員候補者選考委員会の委員構成は以下の(1)～(3)を含む7名以内とし、かつ女性委員を2名以上とする。

(1) 会長 (2) 有識者から3名 (3) 正会員から1名

【設置プロセス】

2月：委員候補検討・打診

3月理事会：設置・構成を正式承認

【役割分担】

- ・候補者選考：選考委員会
- ・手続確認：理事会

(ご参考：2024年度 役員候補者選考委員)

三須 和泰	(公社) 日本ホッケー協会 会長・正会員
北野 妙子	(公社) 日本ホッケー協会 副会長・正会員
真 喜代司	(一社) ホッケー・ジャパンリーグ チェアマン・正会員
佐藤 正一郎	秋田県ホッケー協会会長・正会員
右川 誠治	(一社) 東京都ホッケー協会代表理事・正会員
花野 信子	(公社) 日本ホッケー協会 監事
植田 実	(公財) 日本テニス協会 常務理事

質疑応答

全国都道府県ホッケー協会専務理事・事務局長連絡会

ご清聴ありがとうございました。

